

# 10. ドイツ

■正式国名：ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany

■政治形態：連邦共和制 EU加盟

■面積：35.7万km<sup>2</sup> (日本の約94%)

■人口：8,337万人

■言語：ドイツ語

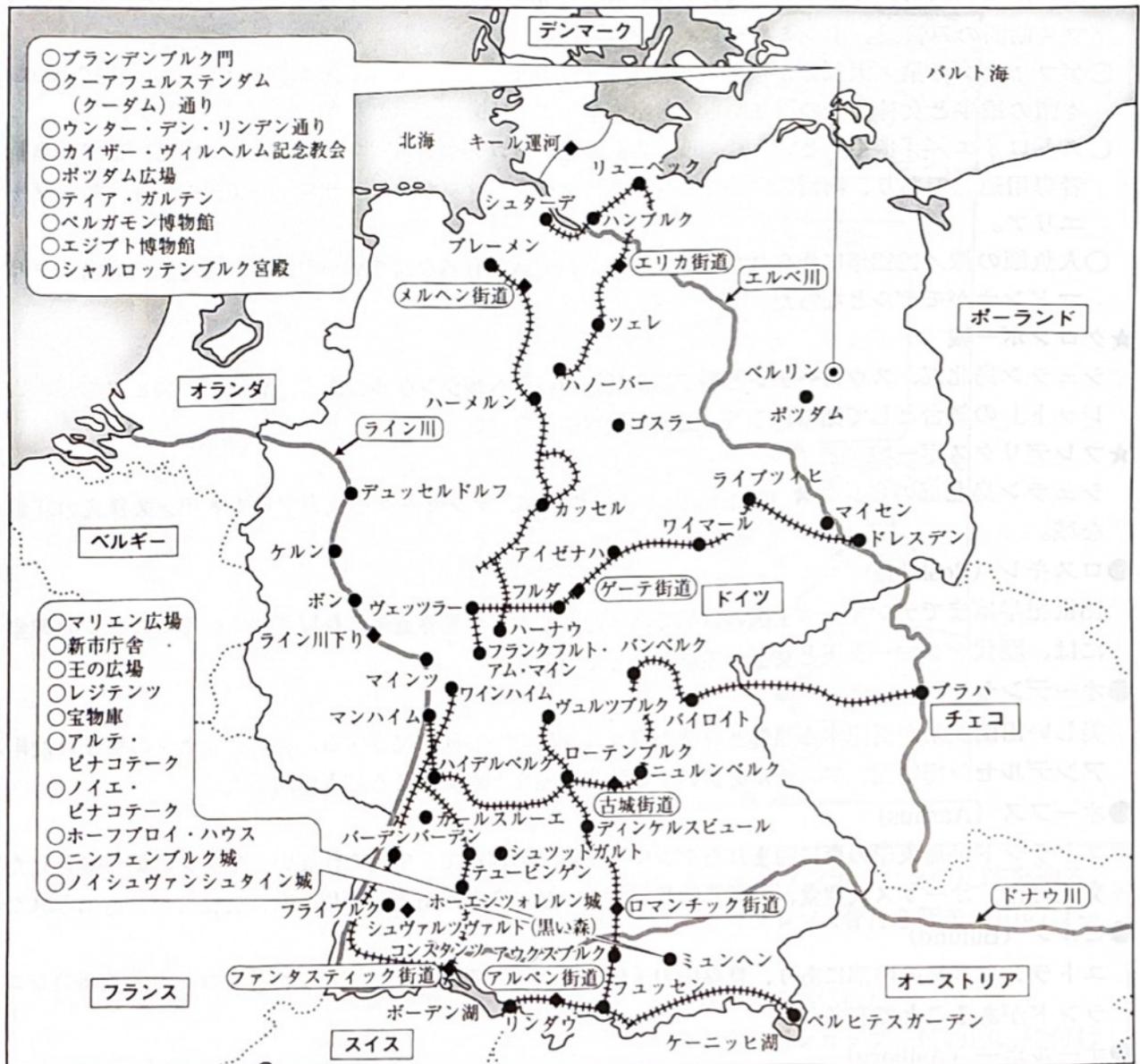
■通貨：ユーロ (1ユーロ=162.6900円)

■住民：主にドイツ人。

■宗教：カトリック (南部に多い) が約25%、プロテスタント (北部に多い) が約23%など。

■地勢：国土は南から北へ行くにしたがって低地となっていて、南部は高山及び高原、中央部は丘陵地帯、北部は平原地帯である。北海、バルト海に臨んでいる。

■気候：全般に大陸性気候で、冬季は長く寒冷であるが、北・西部は海洋性気候の特色を示す。



(注) +-----+ は観光街道を表す

- 観光：人気観光街道巡り。ライン川クルーズ。ワイナリー巡り
- 名物料理：ザウアーブラーテン（P245参照）。ザウークラウト（P245参照）。アイスバイン（P245参照）。シュヴァイネハクセ（豚スネ肉の煮込み）。ヴァイスブルスト（ミュンヘン名物白ソーセージ）。レバークネーデルズuppe（レバー団子のスープ）。バウムクーヘン
- 土産品：陶磁器（マイセン）。シュタイフ社製ティペア。木製玩具。ビール・ジョッキ。ワイン（モーゼルワイン、ラインガウワインなど白ワイン）。刃物製品（ゾーリングゲンの爪切りなど）
- アトラクション：オペラ鑑賞、オクトーバー・フェスト（9月中旬～10月初旬、ミュンヘンの大ビール祭り）、各地で開かれるクリスマス市（12月）、バイロイト音楽祭（7月下旬～8月下旬）

### ●ベルリン (Berlin)

18世紀のプロイセン王国以降第2次世界大戦終結の1945年までの首都であり、1990年の東西ドイツの再統一後に首都として復活したシュプレー川沿いの都市。人口365万人。

- ブランデンブルク門／ドイツ古典主義建築の傑作といわれる統一ドイツの象徴とされる門。東西分裂時代は、すぐ近くに壁が築かれていたため、門をくぐることができなかった。
- クーアフルステンダム（クーダム）通り／全長3.5kmに及ぶベルリン最大の繁華街で、通りには多くの老舗デパート、高級ブティック、高級レストランなどが並ぶ。
- ウンター・デン・リンデン通り／ブランデンブルク門の前から東西に延びる通り。第2次大戦前の繁華街であり、通り名は「菩提樹の下」の意。中央部に菩提樹の並木が続いている。
- カイザー・ヴィルヘルム記念教会／19世紀末にヴィルヘルム1世を記念して建てられたネオ・ロマネスク様式の教会。1943年の空襲で破壊され、修復せずに戦争の悲惨さを伝えている。隣には、新しく教会が建てられた。
- ポツダム広場／高層ビル群がそびえる広場で、開発企業名をとってソニー・センターとダイムラー・クライスラー・シティの2つの地区に分かれている。映画博物館、コルホフビル展望台、ポツダム広場劇場がある。広場の西にある文化フォーラム地区は、ベルリン・フィル・ハーモニーの本拠地、絵画館、新ナショナルギャラリーなどから成る。
- ティア・ガルテン／ポツダム広場の北、ブランデンブルク門の西にある、かつて王室の狩猟場であった広大な公園。中央に映画「ベルリン天使の詩」の戦勝記念塔、南西にベルリン動物園がある。
- 博物館島（ムゼウムスインゼル）／シュプレー川の中州にある観光スポット。ベルリン博物館を構成する5つの博物館・美術館が集まることから命名された。1999年世界遺産登録。ベルガモン博物館は、5つの博物館のひとつで、古代ギリシャの遺跡であるトルコ西部のベルガモンで発掘されたゼウスの大祭壇、ミレトスの市場門、古代バビロニアのイシュタル門と行列通りなど、巨大遺跡の展示で有名。また、新博物館は、古代エジプトの工芸品や先史時代の遺品を展示し、王妃ネフェルティティの胸像が有名。
- シャルロッテンブルク宮殿／プロイセン王国のバロック建築の離宮。

### ●ポツダム (Potsdam)

ベルリンの南西、ブランデンブルク選帝侯とプロイセン王の城下町であった小都市。フリードリヒ大王が夏の離宮として建てたサンサーシ宮殿と、第2次世界大戦終了直前にポツダム会談の行われたツェツィリエンホーフ宮がある。

### ●フランクフルト・アム・マイン (Frankfurt am Main)

マイン川沿いのドイツの商業・金融・交通の中心都市。14世紀から神聖ローマ皇帝の選挙地、皇帝の戴冠式の行われた都市である。ゲーテの生地としても知られ、中心部にあるハウプトバッヘ広場、ゲーテの家、皇帝の戴冠式の行われた大聖堂（ドーム）、レーマー（旧市庁舎）などが見どころ。人口75万人。

◆ライン川 (Rhine River)

伝説の川であるばかりでなく、交通路として昔から歴史上重要な役割を果たしてきた、スイスのトーマ湖に源を発しスイス、ドイツ、フランス、オランダ等の全長1,230kmを流れる国際河川。ライン川下りの船旅はマインツからワイン酒場で賑わうつぐみ横丁のあるリュエデスハイム、伝説の岩山ローレイ、中世のマルクスブルク城を経てコブレンツへの船下りが人気のコース。

◆古城街道

マンハイムからハイデルベルク、ローテンブルク、ニュルンベルク、バンベルク、バイロイトなどを経由し、チェコのプラハまでの古城を巡る観光街道。

●マンハイム (Mannheim)

ライン川とネッカー川の合流地点に位置する古城街道の西の起点となる大学都市。ドイツ国内で2番目の大きさの内陸港を持つ。1782年にシラーの「群盗」が上演されたマンハイム国立劇場は世界最古の自治体運営の劇場。人口31万人。

●ハイデルベルク (Heidelberg)

ドイツ最古の大学があるネッカー川沿いの大学と古城の町。マイヤー・フェルスター作の戯曲「アルト・ハイデルベルク」の舞台で、アルテ橋、ハイデルベルク城、ハイデルベルク大学、学生牢、騎士の家、聖霊教会、哲学者の道などが見どころ。人口16万人。

●バイロイト (Bayreuth)

ワーグナーが建てた祝祭歌劇場で有名な町で、毎年夏にはバイロイト音楽祭が開かれる。

●ニュルンベルク (Nürnberg)

バイエルン州第2の都市で、ドイツのルネサンス期(15~16世紀)の画家デューラーの生地。カイザーブルク(神聖ローマ皇帝の居城)城、聖ローレンツ教会、デューラーの家、職人広場などが見どころ。11月下旬からはじまるクリスマス市は有名で、世界中から観光客が集まる。人口52万人。

●デュッセルドルフ (Düsseldorf)

ルール工業地帯の玄関口ともいえる都市で、日本の企業が多数進出している。詩人ハイネの生地であり、市の中心のケーニヒスアレー、ハイネの家、ゲーテ博物館などが見どころ。西郊外にネアンデルタール博物館がある。人口62万人。

●ケルン (Köln)

ローマ時代の軍事要衝の地で大司教区、ライン河畔の商業都市として発展した。オーデコロンの発祥地として知られ、市の象徴であるドイツ最大のゴシック建築の大聖堂(1996年世界遺産登録)、ローマ・ゲルマン博物館、シュニユットゲン美術館などが見どころ。人口109万人。

●ボン (Bonn)

ライン左岸に開けた西ドイツ時代(1949年~1990年)の首都。ボンはベートーヴェンの生誕の町であり、またシューマンの終焉の地として知られる。ベートーヴェンの生家、ミュンスター、国立歴史博物館などが見どころ。人口33万人。

◆エリカ街道

ハンブルクからリュベック、エリカ(ヒース)の群生するリュネブルガー・ハイデを通過して木組み家屋の美しいツェレからハノーバーまで続く観光街道。エリカの花は8~9月に咲き乱れる。

●ハンブルク (Hamburg)

ハンザ同盟時代からの伝統あるドイツ第2の都市。エルベ川に面したヨーロッパ有数の貿易港のひとつ。アルスター湖、夜の繁華街レーパーバーン、聖ミヒャエリス教会、市立美術館、フィッシュマルクトなどが見どころ。作曲家ブラームスの生地。人口184万人。

●ハノーバー (Hanover)

ニーダーザクセン州の州都で、毎年4月にハノーバー・メッセ(世界最大級の産業見本市)が開催される。ヘレンハウゼン王宮庭園などが見どころ。エリカ街道の南の起点でもある。人口54万人。

## ◆メルヘン街道

ブレーメンからハーメルン、ボーデンベルダー、トレンデルブルク、ザパブルク、ハン・ミュンデン、カッセル、シュタイナウ、ハーナウまでドイツのグリム童話にゆかりのある地を結ぶ観光街道。

## ●ブレーメン (Bremen)

ハンブルクと同じくハンザ同盟都市。ハンブルクに次ぐ貿易港で、メルヘン街道の出発点。世界遺産のローラント像と市庁舎やブレーメンの音楽隊の記念像、ベトヒャー通り、工芸品店やアンティーク店が並ぶシュノーア地区などの見どころがある。人口57万人。

## ●ハーメルン (Hameln)

「ハーメルンの笛吹き男」の民間伝承で知られ、ヴェーザー・ルネサンス時代の家並み、結婚式の家、ネズミ捕り男の家などがある。

## ◆ロマンチック街道

ヴュルツブルクからローテンブルク、ディンケルスビュール、ネルトリンゲン、アウクスブルクを経てフュッセンまで、のどかな田園風景と中世の面影を残す小都市を結ぶ観光街道。

## ●ヴュルツブルク (Würzburg)

フランクフルトの南東120km、マイン川沿いの町。ロマンチック街道の北の起点であり、大司教の宮殿「ヴュルツブルクのレジデンツ」は庭園群と広場を含め世界遺産。人口13万人。

## ●ローテンブルク (Rothenburg)

なだらかな丘陵地帯の中で、城壁に囲まれた中世時代の家並みを残す美しい町。ロマンチック街道と古城街道の交差点にあたる。市庁舎の隣の議員会館の仕掛け時計マイスタートウルクが呼びものひとつで、そのほかザンクトヤコブ教会の聖血の祭壇、ブルク公園などがある。

## ●フュッセン (Füssen)

オーストリアとの国境近くにある山に囲まれた保養地。近くには、ノイシュヴァンシュタイン城、ホーエンシュヴァンガウ城、ヴィース教会(1983年世界遺産登録)、リンダーホーフ城があり、南ドイツ山岳地方観光の中心のひとつともなっている。

## ●ミュンヘン (München)

バイエルン州の州都。世界最大のビール祭りオクトーバー・フェストが催されるビールの町として、また美術や音楽の町としても有名。1972年のオリンピック開催地でもある。人口147万人。

○マリエン広場／町の中心の新市庁舎前にある広場。周辺はレストランやショップが多く、歩行者天国になっている。

○新市庁舎／マリエン広場にあるネオ・ゴシック様式の建物で、ドイツ最大の仕掛け時計で知られる。等身大の人形が踊ったり、騎士の馬上試合をしたりするのを見るため、多くの観光客が集まる。

○ケーニヒス広場(王の広場)／19世紀前半、アテネのアクロポリスに感銘を受けたバイエルン国王ルートヴィヒ1世によって作られた。ギリシャ風建築物が多く並び、プロピュライオン(古代ギリシャ神殿柱廊門)の前には古代彫刻美術館と古代美術博物館がある。

○レジデンツ／ヴィッテルスバッハ家(バイエルン地方を発祥とする有力な君主の家系)の宮殿。内部には博物館や劇場もある。豪華な部屋や広間が続くレジデンツ博物館、肖像画が121枚飾られた祖先画ギャラリー、美しいフレスコ画が描かれた丸天井があるアンティークバリエム(考古館)、王室の王冠や金細工などの宝物が展示されている宝物館などが見どころ。

○アルテ・ピナコテーク／ヴィッテルスバッハ家の名画コレクションを収蔵している美術館。15～16世紀のドイツ絵画が中心で、特にデューラーの「四人の使徒」が有名。

○ノイエ・ピナコテーク／19世紀以降のドイツ絵画やフランス印象派絵画を中心に収蔵している美術館。ゴッホ、マネ、セザンヌなどの近代名画が見られる(現在休館中)。

○ホーフプロイ・ハウス／かつてバイエルン王室の御用醸造所であったビアホール。ナチスの前身のドイツ労働者党の指導者ヒトラーが決起集会を開いた場所である。

- ニンフェンブルク城／郊外にあるヴィッテルスバッハ家の夏の離宮。美人画ギャラリー、馬車の博物館、広大な庭園、多くの小宮殿、浴場プールなどがある。
- ノイシュヴァンシュタイン城／郊外のフェッセン近くにあるバイエルン国王ルートヴィヒ2世の白亜の城。ディズニーのシンデレラ城のモデルとなった。17年と巨額の費用をかけて建てられたが、完成前にルートヴィヒ2世はこの世を去った。

◆ファンタスティック街道

ワインハイムを起点とし、シュヴァルツヴァルト（黒い森）の町々を通ってボーデン湖畔のコンスタンツまで続く観光街道。テュービンゲンやバーデンバーデン、ホーエンツォレルン城などドイツの魅力がぎゅっと詰まったルート。

●シュツットガルト (Stuttgart)

ドイツ南部のネッカー川に河港をもつ商工業都市。ダイムラー、ボルシェなどの本社がある。新宮殿、旧宮殿（博物館となっている。）、ペンツ博物館、ボルシェミュージアムなどが見どころ。人口63万人。

●カールスルーエ (Karlsruhe)

シュヴァルツヴァルトの北端に位置し、ドイツ連邦最高裁判所や原子力研究センターがある。

●バーデンバーデン (Baden Baden)

シュヴァルツヴァルトの北の入口（カールスルーエの南）に位置し、古代ローマ時代から温泉保養地として繁栄。ヨーロッパでも屈指の祝祭劇場がある。

●フライブルク (Freiburg)

シュヴァルツヴァルトの南西部ライン川沿いの大学都市。環境保全への取組みの先進的な町としても有名。「最も美しい塔」といわれる尖塔のあるフライブルク大聖堂がある。人口23万人。

◆アルペン街道

ドイツ南部のオーストリア国境近くを東西に走る山岳街道。リンダウからフェッセン、ドイツの最高峰ツークシュピツェ（標高2,962m）、キーム湖を経て、山岳保養地ベルヒテスガーデンまで。

◆ゲーテ街道

ドイツの文豪ゲーテの足跡をたどる観光街道。ゲーテの生地フランクフルトから終焉の地ワイマール、学生時代を過ごしたライプツィヒを経て、ゲーテが称賛した芸術と音楽の街ドレスデンまでの約500km。

●ワイマール (Weimar)

文豪ゲーテとシラーゆかりの地で、ドイツの文学者や音楽家に深い関係のある芸術の都。ワイマール憲法が制定された町としても有名。市の中心マルクト広場、シラーの家、ゲーテの家、クラナッハの家、ワイマール宮殿などが見どころ。

●マイセン (Meissen)

マイセン焼きで知られるヨーロッパ屈指の磁器の町で、中世以来の家並みの残る観光都市である。

●ドレスデン (Dresden)

「エルベのフィレンツェ」と呼ばれる、16世紀以来の芸術と文化の都市。ザクセン地方の交通の要衝で工業都市でもある。戦後復旧再建されたツヴィンガー宮殿、アルベルティヌム、再建されたフラウエン教会（聖母教会）、ゼンパー歌劇場、ドレスデン城、郊外のピルニッツ宮殿などが見どころ。人口55万人。

●ライプツィヒ (Leipzig)

ザクセン地方の経済と文化の中心都市。国際見本市が毎年春・秋の2回開催される。有名なゲバントハウス管弦楽団の本拠地でもある。市の中心マルクト広場、メードラー・パッサージュ（アーケード）、旧市庁舎、バッハが音楽監督兼オルガン奏者を勤めたトーマス教会などが見どころ。人口59万人。

●アイゼナハ (Eisenach)

ドイツのほぼ中央部に位置する町。「音楽の父」と称されるバッハの生誕地。郊外のヴァルトブルク城は、宗教改革家ルターが新訳聖書をドイツ語に翻訳したことと中世のヴァルトブルク歌合戦で有名であり、1999年世界遺産登録。

## &lt;Attention Please!!&gt;

○ドイツ生まれの主な発明家、作曲家、詩人・作家、学者など（王族、政治家を除く）

名前	分類	生地	生年-没年	主な作品、特徴
グーテンベルク	印刷技術発明者	マインツ	1398-1468	活版印刷技術の発明者
バッハ	作曲家	アイゼナハ	1685-1750	マタイ受難曲など。「音楽の父」と呼ばれる
ヘンデル	作曲家	ハレ	1685-1759	メサイア(救世主) など
ゲーテ	詩人・作家	フランクフルト・アム・マイン	1749-1832	若きウェルテルの悩み、ファウスト、イタリア紀行
ベートーヴェン	作曲家	ボン	1770-1827	英雄、運命、田園、第九などの交響曲
ガウス	数学者	ブラウンシュヴァイク	1777-1855	代数学の基本定理など
ブラームス	作曲家	ハンブルク	1833-1897	子守歌、ハンガリー舞曲、ドイツ民謡集など
ヘルマン・ヘッセ	作家	カルフ(ドイツ南部)	1877-1962	車輪の下、デミアンなど。ノーベル文学賞
アインシュタイン	物理学者	ウルム	1879-1955	理論物理学者、相対性理論を発表

他に、グリム兄弟(言語学者・民話収集家、18~19世紀)、シューマン(作曲家1810-1856)、シュリーマン(考古学者1822-1890)、マックス・ウェーバー(社会学者1864-1920)など

○インターシティ・エクスプレス(ICE):ドイツ国鉄の新幹線で、最高時速300km(ドイツ国内)。

○モーゼル・ワイン:モーゼル川及び支流のザール川、ルーヴァー川の流域はヨーロッパでも有名なモーゼル・ワイン(ほぼ100%白ワイン)の生産地として知られ、芳醇でフルーティなワインとして愛好者が多い。



ブランデンブルク門(ベルリン)



ブレーメンの音楽隊の像



ヴルスト



ノイシュヴァンシュタイン城

## 11. スイス

■正式国名：スイス連邦

Swiss Confederation

■政治形態：連邦共和制

■面積：4.1万km<sup>2</sup>（九州とほぼ同じ）

■人口：874万人

■言語：ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語

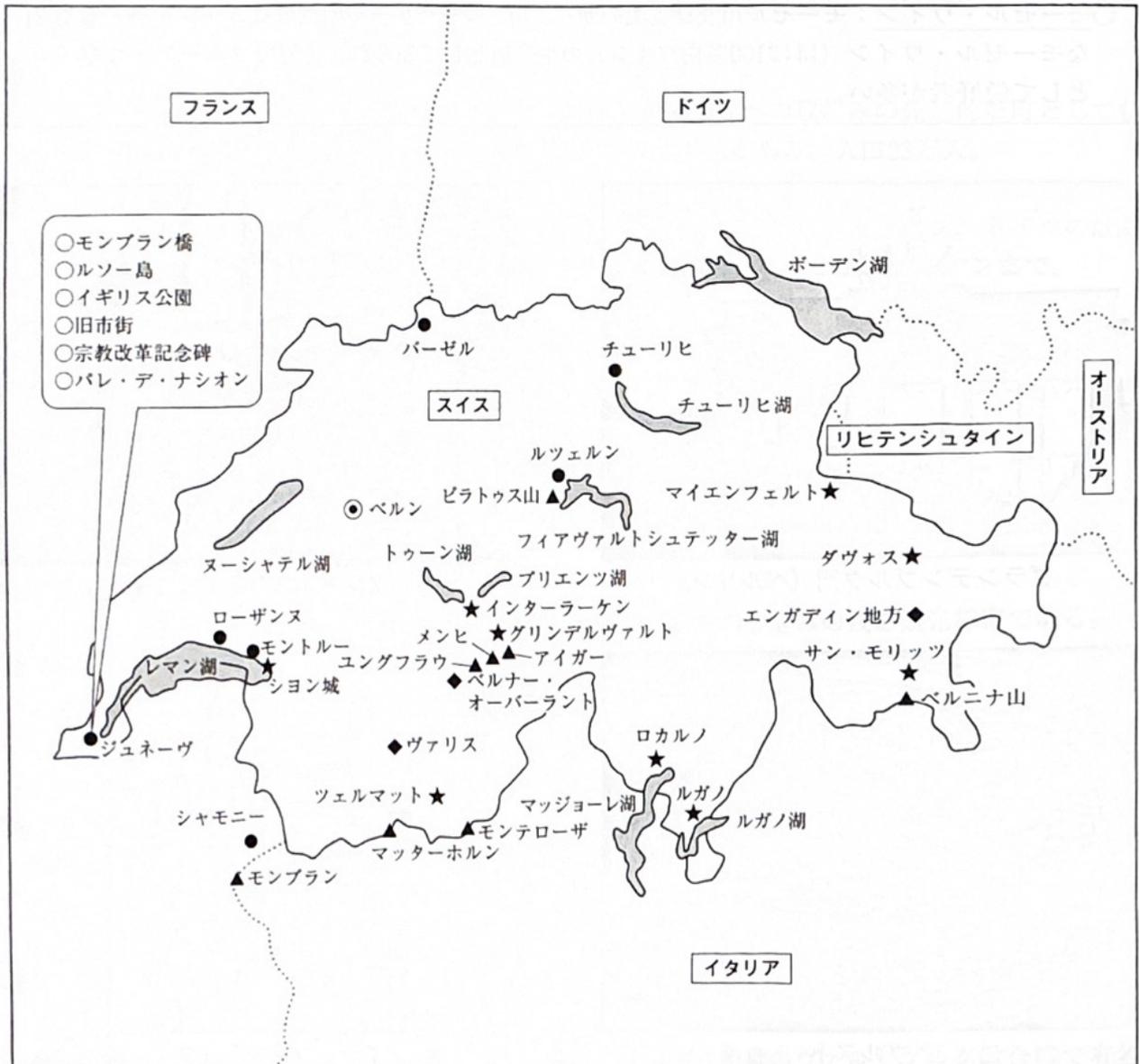
■通貨：スイス・フラン（1スイス・フラン=173.0950円）

■住民：ドイツ系が65%、フランス系が18%、イタリア系が10%。そのほかロマンシュ系。

■宗教：カトリック、プロテスタントほか。

■地勢：中・南部にアルプスの高山が峰を連ね、またフランスとも山脈によって国境を接している。荒々しい山々に囲まれているが、前衛としてのアルプ（牧草地）や湖水にも恵まれて美しい景観をつくり、観光立国として有名である。

■気候：全般に西岸海洋性気候と大陸性気候の中間、高度1,000m以上のところは山岳気候である。夏季は降水量が多い。



- 観光**：アルプス3大名峰（マッターホルン、ユングフラウ、モンブラン）観光。湖畔のリゾート地へ（インターラーケン、ローザンヌ、ロカルノなど）。氷河特急のパノラマ車両に乗る（サン・モリッツ〜ツェルマット）。ベルニナ特急（クール〜ティラノ）。ゴールデンパス・ライン（ルツェルン〜モントルー）
- 名物料理**：チーズ・フォンデュ（チーズを使った鍋料理）。ベルナーブラッテ（ベーコンやソーセージの煮込みに野菜かザワークラウトが添えられている）。ゲブラーテネ・ブーレブルスト（若鶏のグリル）
- 土産品**：木彫製品。刺繍。アーミーナイフ。鳩時計。オルゴール。カウベル。チーズ。ワイン
- アトラクション**：民族音楽ヨーデル。登山。トレッキング。湖の遊覧船でクルーズ。ルツェルン国際音楽祭（8月〜9月）。モントルー・ジャズ・フェスティバル（7月）

### ●ベルン（Berne）

首都であるが、落ち着いた小さな町。市内からベルナー・オーバーラントの山々が見える同山岳地方の玄関都市でもある。熊は、この都市の象徴。シュピタル通り、マルクト通り、クラム通りを結んだ通りがこの町の中心。連邦議会議事堂、時計塔、市庁舎、熊公園、通信博物館、スイス生まれの画家パウル・クレー・センターなどが見どころ。人口13万人。

### ◆ベルナー・オーバーラント

アイガー（3,970m）、メンヒ（4,099m）、ユングフラウ（4,158m）などの名峰を擁するスイス中西部の「ベルン州南部の高地」と呼ばれる山岳地帯。インターラーケンからグリーンデルヴァルト、クライネシャイデックを経てヨーロッパの鉄道最高所駅ユングフラウヨッホ（3,454m）まで登山電車で登ることができる。さらにエレベーターでスフィンクス展望台（3,573m）に上がるとアレッチ氷河やユングフラウ山頂を望むことができる。

### ★インターラーケン（Interlaken）

ベルナー・オーバーラントの玄関口にある保養地。ブリエンツ湖とトゥーン湖の2つの湖に挟まれているのがこの町の名称の由来。カジノ・クアザール、旧市街、ホルダー展望台などが見どころ。

### ●ジュネーヴ（Geneva）

スイス南西端のレマン湖畔最大の町で、国際連合欧州本部などの機関が集まる国際都市。西ヨーロッパの最高峰モンブラン（標高4,810m）観光のための玄関口でもある。フランスに囲まれているため、フランス文化の影響を強く受けている。人口20万人。

○モンブラン橋／市の中心のモンブラン広場やイギリス公園周辺に架かる橋で、モンブランを望むことができる。橋の近くには、人気の遊覧フェリーの乗り場がある。

○ルソー島／市の中心部にあるベルク橋から突き出た島。ジュネーヴ生まれのジャン・ジャック・ルソーの像がある。旧市街には、ルソーの生家がある。

○イギリス公園／有名な花時計があるレマン湖畔の公園。目の前には高さ140mの大噴水がある。

○旧市街／ロヌ川を挟んで左岸にあり、見どころが多い。ヌーブ広場、宗教改革記念碑、ジュネーヴ大学、市庁舎、サン・ピエール大聖堂、美術・歴史博物館などがある。

○宗教改革記念碑／ジュネーヴ大学の敷地内にある、カルヴァンをはじめとする宗教改革の中心人物たちを記念して造られた長さ約100mの壁像。

○パレ・デ・ナシオン（国際連合欧州本部）／かつての国際連盟の本部。広大な敷地と国際会議場を誇り、年間700以上の会議が行われている。世界最大規模の図書館があり、国際条約の原文を所蔵する博物館もある。

- ★モンブラン／「白き山」という意。西ヨーロッパ最高峰（4,810m）。夏でも雪に覆われ、フランスとイタリアの国境に位置するが、スイス・アルプスとして紹介されることが多い。ジュネーヴを起点とする日帰りツアーが便利である。（モンブランの詳細はP93のシャモニー参照）
- ★シヨン城（Chillon Castle）  
レマン湖の東端、高級保養地モントルーの郊外にある古城。湖上に浮かぶ城は、周囲の風景と見事に調和している。英国の詩人バイロンの詩「シヨンの囚人」「シヨン城詩」の舞台として知られる。
- ローザンヌ（Lausanne）  
レマン湖北岸のほぼ中央にある高級リゾート。レマン湖に臨む古城ウシー城、大聖堂が見どころ。国際オリンピック委員会（IOC）の本部が置かれている。人口14万人。
- ◆ヴァリス山群  
有名なマッターホルン（標高4,478m）をはじめ、4,000m級の山々が連なる山岳地帯で、玄関口はツェルマットの村。登山電車でゴルナーグラート展望台（3,089m）に上がるとマッターホルン、モンテローザ（4,634m）、ブライトホルンなどの展望が素晴らしい。
- ★ツェルマット（Zermatt）  
マッターホルンで知られるヴァリス山麓にある登山基地で、世界的に有名な保養地でもある。排気ガス対策として、乗り物は電気自動車か馬車しか認められていない。サン・モリッツやダヴォスなどまで走る氷河特急（世界一遅いといわれ人気が高い列車）の起点でもある。
- バーゼル（Basel）  
ドイツ、フランスとも国境を接する、ライン河畔の古くからある交通の要衝であり、スイス第2の都市。市立美術館、大寺院、キルシュガルテン博物館、民族文化博物館などが見どころ。
- チューリヒ（Zurich）  
スイス第1の都市。チューリヒ湖畔北西岸リマト川にまたがる商工業・教育・文化の中心で、国際金融の中心地。バーンホーフ通り、旧市街、フラウミュンスター（聖母聖堂）、大聖堂などが見どころ。人口42万人。
- ルツェルン（Luzern）  
フィアヴァルトシュテッター湖（ルツェルン湖）畔にある観光都市。夏には国際音楽祭が行われることでも知られる。付近の山々への登山基地でもある。ロイス川にかかる屋根付のカベル橋、旧市街、「瀕死のライオン」として知られるライオン記念碑、氷河公園。郊外には、ピラトウス山（標高2,132m）、ヨーロッパ最初の登山鉄道が開通したりギ山、ウィリアム・テルが息子の頭上のリングを射抜いたとされるアルトドルフがある。レマン湖畔のモントルーまでの景観列車ゴールデンパス・ラインの東の発着地でもある。人口8万人。
- ★マイエンフェルト（Maienfeld）  
リヒテンシュタインとの国境近くにある静かな山村で、ヨハンナ・シュペリの少年少女小説「アルプスの少女ハイジ」の舞台として有名。ハイジの物語の頃の生活の様子を伝えるハイジハウス（博物館）がある。
- ◆エンガディン地方  
スイスの南東、イタリアと国境を接し、ロマンシュ語が多く話される山岳地方。南部のオーバーエンガディン地方にある盟主ベルニナ山（標高4,049m）と避暑地サン・モリッツが有名。
- ★サン・モリッツ（St. Moritz）  
エンガディン地方の、温泉も出る中心的避暑地。冬季オリンピック開催地（1928,1948年）でもある。セガンティーニ美術館、ケーブルカーとロープウェイで登れるピッツ・ネイル（標高3,056m）、ピッツ・コルバッチ（標高3,451m）などが見どころ。イタリアのティラーノまでの世界遺産の山岳鉄道・ベルニナ・エクスプレスの始発駅でもある。

## ★ダヴォス (Davos)

世界経済フォーラム (通称「ダヴォス会議」) が毎年開催されることで有名な保養地。ヘーエンプロムナード、ヴァイスフルー・ギプフェル (山頂)、シュトレラ・パス (展望台) がある。

## ★ロカルノ (Locarno)

イタリアとの国境近くにある、イタリア湖水地方につながるマッジョーレ湖北端の避暑地。近郊に映画監督ビスコンティの祖先に当たるミラノの貴族が14世紀に建てた城であるビスコンティ城、マッジョーレ湖を望むチメッタ山 (標高約1,600m) がある。毎年8月に国際映画祭が開催される。

## ★ルガノ (Lugano)

ロカルノと同じく、イタリア湖水地方につながるスイス南端ルガノ湖畔の北端にある避暑地。モンテ・ブレ展望台 (標高933mの山) などからの展望が見どころ。

## &lt;Attention Please!!&gt;

- アルプスの高峰：マッターホルン (4,478m)、モンテローザ (4,634m)、\*アイガー (3,970m)、\*メンヒ (4,099m)、\*ユングフラウ (4,158m)、モンブラン (4,810m)  
(\*印は世界自然遺産)
- ルツェルン国際音楽祭：毎年8～9月に開催される。1938年にイタリア人の大指揮者トスカニーニ達の尽力でスタートした権威ある音楽祭。
- モントルー・ジャズ・フェスティバル：毎年7月にレマン湖畔のモントルーで開催される。欧州で最大、世界でも2番目の規模を持つジャズ・フェスティバル。
- チーズフォンデュ：どろどろに溶かしたチーズを、ひと口ほどに小さく切ってフォークに刺したパンに絡ませて食べるスイスの鍋料理。チーズの代わりにバターを混ぜた油の中に、フォークに刺した肉の角切りを入れて食べる肉のフォンデュもある。
- スイスの湖：ボーデン湖 (ドイツ国境)、チューリヒ湖、ルツェルン湖、レマン湖 (フランス国境)、マッジョーレ湖 (イタリア国境)、ルガノ湖 (イタリア国境) など多くの湖があり観光名所となっている。
- 永世中立国スイス：将来において仮に第三国間で戦争が起こった場合でも、自国はどちらにも与せず中立の立場をとることを宣言し、他の国々からもその中立を保障され、承認されている国のことをいう。中立であることは軍事的にも同盟国がないことを意味し、他国から軍事攻撃を受けても自国のみで対処しなければならないため、通常自国内に強力な軍隊を持ち、軍備を怠らない場合が多い。スイスは、永世中立国のひとつであり、1815年のウィーン会議で承認されている。



カベル橋 (ルツェルン)



瀕死のライオン (ルツェルン)

## 12. オーストリア

■正式国名：オーストリア共和国

Republic of Austria

■政治形態：連邦共和制 EU加盟

■面積：8.4万km<sup>2</sup>（北海道とほぼ同じ）

■人口：894万人

■言語：ドイツ語

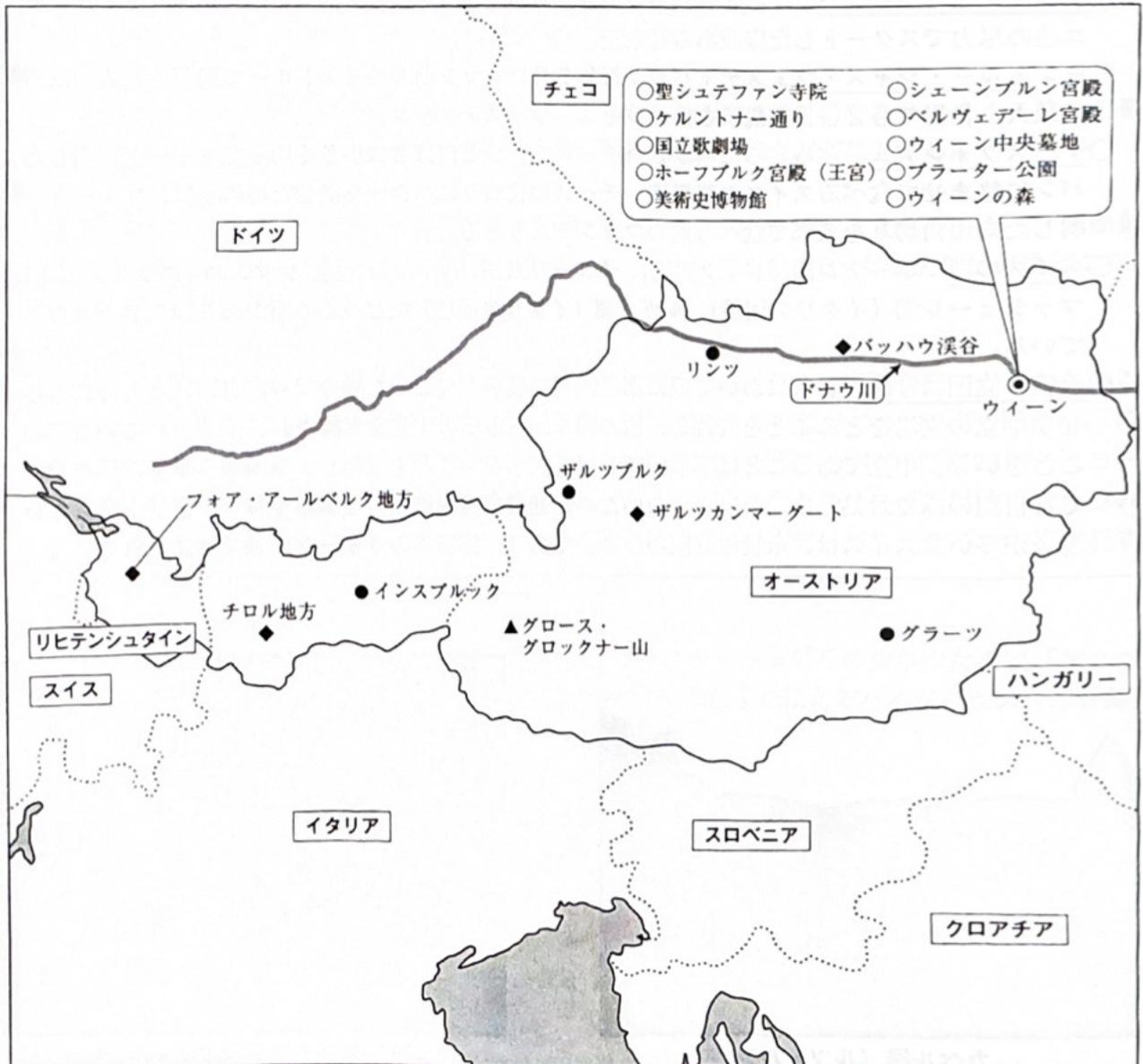
■通貨：ユーロ（1ユーロ=162.6900円）

■住民：第1次世界大戦後、独立した後は主にゲルマン系。

■宗教：カトリックが約55%。他はプロテスタント、イスラム教など。

■地勢：ヨーロッパではスイスに次ぐ山岳国。西のフォア・アールベルク、チロル地方では3,000m級の山々が連なる。東に行くにしたがって低くなり、ウィーン郊外でヨーロッパ・アルプスは終わりとなる。

■気候：全般に大陸性気候で、冬季の寒さは厳しい。降水量は西から東にかけて少なくなっていく。



- 観光**：モーツァルトの足跡を辿る。チロル地方へのスキーツアー。地方都市や山岳地へのバスツアー。ドナウ川クルーズ（バッハウ渓谷）
- 名物料理**：ウィンナー・シュニッツェル（仔牛のカツレツ。ウィーン名物）。パウエルンブファンドル（豚肉、イモ、キノコの炒め煮）。クネーデル（挽き割り小麦の小団子）。ターフェルシュビッツ（ブイヨンで茹でた牛肉）
- 土産品**：チロリアンハット。陶磁器（アウガルテン）。クリスタル（スワロフスキー）。ザッハートルテ。ワイン
- アトラクション**：ニューイヤー・コンサート（ウィーン、1月1日）、ザルツブルク音楽祭（7～8月、世界最大規模）。オペラ、コンサート。登山。蚤の市（ウィーン、土曜日）。ホイリゲ（ワイン酒場）

### ●ウィーン（Vienna）

ハプスブルク家の栄光を残す西欧と東欧を結ぶ中心都市。モーツァルト、ベートーヴェンなどの有名な音楽家が活躍した「音楽の都」でもある。旧市街を囲むリンク（環状大通り）の東に接する市立公園には、音楽の都を代表するワルツ王ヨハン・シュトラウス2世の黄金の像が立っている。人口190万人。

- 聖シュテファン寺院**／旧市街のほぼ中央に建つウィーンの象徴。12世紀から300年かけて建てられたオーストリア最大のゴシック教会であり、137mの尖塔とモザイクが鮮やかな屋根が特徴。
- ケルトナー通り**／聖シュテファン寺院前の広場と国立歌劇場を結ぶ、ウィーン随一の繁華街。
- 国立歌劇場**／フランス風ルネサンス様式の建物である名門歌劇場。
- ホーフブルク宮殿（王宮）**／ハプスブルク家が650年にわたって住まいとしていた広大な王宮。皇帝の部屋、シシ博物館（皇妃エリザベットの愛用品を収蔵）、宝物館などが公開されている。
- 美術史博物館**／ハプスブルク家の皇帝たちによって収集された世界中の美術品を収蔵している。世界最多を誇るブリューゲルのコレクションのほか、ルーベンスやフェルメールの作品などもある。
- シェーンブルン宮殿**／マリー・アントワネットの母マリア・テレジア（1717～1780年）で知られるハプスブルク家の栄華を象徴する宮殿。バロック建築の建物としては国内最大で、夏の離宮として使われていた。部屋数1,441室の宮殿、総面積が約1.7km<sup>2</sup>の庭園、噴水などが有名。世界遺産。
- ベルヴェデーレ宮殿**／英雄オイゲン公の夏の離宮として建てられた。バロック建築の宮殿は、上宮のオーストリア絵画館と下宮の中世とバロック美術館に分かれている。
- ウィーン中央墓地**／ベートーヴェン、シューベルトをはじめとする音楽の巨匠の墓やモーツァルトの記念碑がある。映画「第三の男」のラストシーンに登場する。
- プラーター公園**／かつて貴族の狩猟場であったプラーターの森が、1799年に市民に開放された。以来、市民の憩いの場となり、1873年の万博の会場にもなった。映画「第三の男」のロケ地にも使われた大観覧車が有名。
- ウィーンの森**／ウィーン南西郊の広葉樹の森林に覆われた山地であり、ウィーンからの行楽客が多い。新酒を飲ませることで知られるホイリゲ（ワイン酒場）が集っているグリーンツィング、ベートーヴェンが愛した町ハイリゲンシュタット、展望台カーレンベルクの丘の他、フランスの作家クロード・アネの小説「うたかたの恋」の舞台となったマイヤーリンク、温泉地バーデンなどがある。

### ●ザルツブルク（Salzburg）

オーストリア中部の中心都市。「音楽の都」であり、モーツァルトの生地、音楽祭の開催地としても有名。丘にそびえたつホーエンザルツブルク城、その下にあるレジデンツ広場、レジデンツ、大聖堂、繁華街ゲトライデガッセ通り、モーツァルトの生家、祝祭劇場、ミラベル宮殿と庭園などが見どころ。郊外にはヘルブルン宮殿がある。旧市街は「ザルツブルク市街の歴史地区」として世界遺産登録。人口15万人。

◆ザルツカンマーグート

ザルツブルクの東に広がる湖水地方。夏の避暑地、冬のスキー場として知られ、映画「サウンド・オブ・ミュージック」のロケ地でもある。中心は温泉保養地バート・イシュル。ザンクト・ヴォルフガング湖、ハルシュタット湖、モント湖がある。

●インスブルック (Innsbruck)

チロル地方の中心都市で、ドイツとイタリアを結ぶ要衝の地。1964年・1976年の冬季オリンピックの開催地でもある。マリア・テレジア通り、市の塔、黄金の小屋根、ホーフブルク、宮廷教会、チロル民族博物館などが見どころ。市の後ろにはノルトケッテ（「北の鎖」の意）の山々がそびえ、郊外にはアンブラス城がある。人口13万人。

◆チロル地方 (Tirol)

インスブルックを中心として東西に広がる山岳地域で、オーストリア・スキーの本場。チロルの風俗や音楽に接することもできる。サンクト・アントンはオーストリア近代スキーの発祥の地。そのほかツイラータール、エッツタールなどの溪谷も避暑地として賑わう。

◆グロス・グロックナー山 (Gross Glockner Mountain)

ザルツブルク州、ケルンテン州、東チロル州にまたがるオーストリアの最高峰 (3,798m)。ツェル湖畔の保養地ツェル・アム・ゼーからこの山を中心とした山々と氷河を見学する観光道路ができています。

●グラーツ (Graz)

オーストリア南部の人口第2の学園都市。1999年に世界遺産に登録された旧市街のヨアネウムやオペラ座、2010年に拡大登録されたエッゲンベルク城が見どころ。人口29万人。

●リンツ (Linz)

ドナウ川沿いのオーストリア第3の都市。神聖ローマ帝国時代に学問・芸術の中心地として発展。2009年には欧州文化首都に選定された。郊外の聖フローリアン修道院が有名。人口21万人。

<Attention Please!!>

○ハプスブルク家：スイス北東部のライン川上流域を出自とする王家。1273年ハプスブルク伯ルドルフがドイツ王に選出されて世に出た。以降ドイツ南東地方及びオーストリア地方に勢力を拡大。やがて、ルドルフ4世が「オーストリア大公」を自称。1508年にはマクシミリアン1世がローマ教皇から戴冠を受けずに皇帝を名乗り始める。婚姻政策により版図を拡大し、一時は東欧からスペインまでを制覇。18世紀にはマリア・テレジアが事実上の女帝として君臨、ルイ16世と結婚したテレジアの娘マリー・アントワネットは有名。19世紀初頭にナポレオンの攻勢により、同家フランツ2世が神聖ローマ皇帝を1806年に退位するなど徐々に衰退した。



国立歌劇場 (ウィーン)



ベルヴェデーレ宮殿

## 13. リヒテンシュタイン

■正式国名：リヒテンシュタイン公国

Principality of Liechtenstein

■政治形態：立憲君主制

■面積：160km<sup>2</sup>（小豆島と同規模）

■人口：4万人

■言語：ドイツ語

■通貨：スイス・フラン（1スイス・フラン＝173.0950円）

■住民：主にゲルマン系リヒテンシュタイン人。

■宗教：カトリックが80%、プロテスタントが9%。

■地勢：東西10km、南北25kmの小国。東にオーストリア、西にスイスと国境を接しているが、西の国境を形成するライン川の東岸は平野であり、オーストリアと接する東部は丘陵と山地となっている。

■気候：全般に山岳気候だが、夏季には25度前後まで上昇する。

- 観光：バスで山岳地帯へ（マルブン、サライゼル・ヨッホ、ガリナ山）
- 名物料理：シュニッツェル。グーラッシュ（肉や野菜の煮込み）。ヴルスト
- 土産品：記念切手。宝飾品。ワイン
- アトラクション：ハイキング。スキー（マルブン）

### ◎ファドゥーツ（Vaduz）

ライン川右岸の谷底平野に位置する首都であり、政治・経済の中心地である。スイスやオーストリアからのポストバス（郵便物と旅客の両方を運ぶバス）が到着する小さな町で、高台にある大公の居城ファドゥーツ城、現代美術館、切手博物館などが見どころ。町の郵便局は、色、デザインに優れた切手を買求める観光客で混雑する。人口6千人。

### <Attention Please!!>

- リヒテンシュタインと切手：リヒテンシュタインは、美しい切手の発行国として世界中の切手収集家に人気が高い。この山国の美しい自然を表わす切手や、蝶の切手など、繊細なグラデーションによるその美しさは、切手コレクターの垂涎の的。
- 非武装永世中立国：リヒテンシュタインは、「非武装永世中立国」を自称し、1868年軍隊を廃止し、その後は軍隊を保有していない。その後、1919年の合意により、スイスがリヒテンシュタインの防衛を担当している。



## 14. フランス

■正式国名：フランス共和国

French Republic

■政治形態：共和制 EU加盟

■面積：55万km<sup>2</sup>（日本の約1.5倍）

■人口：6,463万人

■言語：フランス語

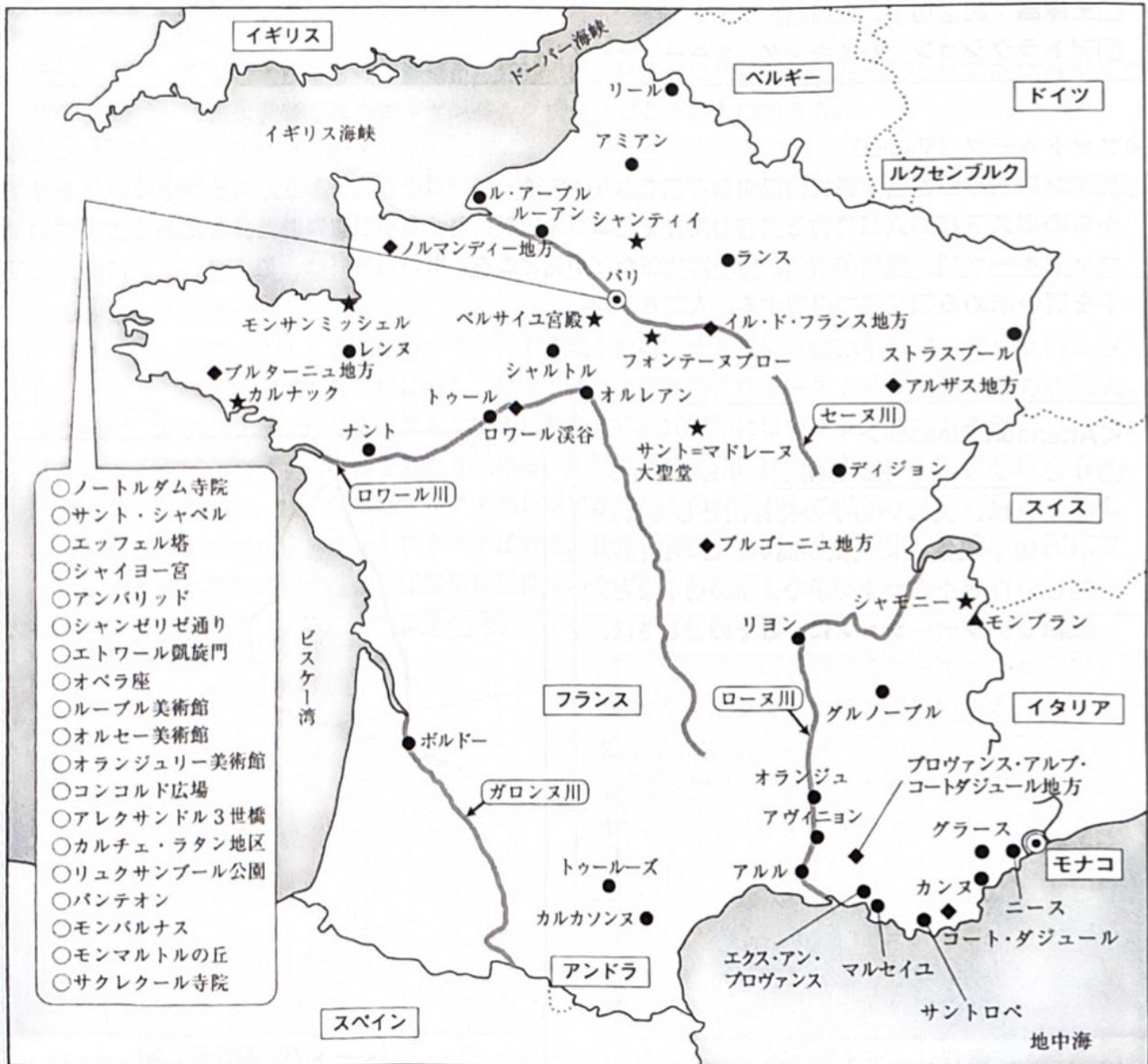
■通貨：ユーロ（1ユーロ=162.6900円）

■住民：主にフランス人であるが、地方にはフラマン人、ブルトン人、バスク人、カタルニア人、プロヴァンス人がいる。

■宗教：カトリック、イスラム教、プロテスタント、ユダヤ教など。

■地勢：南東部のアルプス山岳地帯から北に向かつて森林・高地が続き、イタリア、スイス、ドイツ、ベルギーと国境を接し、南にはピレネー山脈でスペインと国境を接している。南部地方は温かい地中海に面し、世界有数の避寒地となっている。西部、北部は丘陵や盆地が多い。

■気候：北・西部は西岸海洋性気候で比較的温暖、東部は大陸性気候で冬季は寒い。南部は乾燥し、地中海性気候の特色を示す。



- 観光：セヌ川遊覧、コート・ダジュール巡り、プロヴァンス地方巡り、ロワール溪谷城巡り
- 名物料理：ブイヤベース（魚介類のサフラン煮込み）。エスカルゴ（食用カタツムリのニンニク・バター焼き）。フォアグラ（ガチョウや鴨の肝臓）。キッシュ（野菜、チーズ、肉類を入れた卵と生クリームのパイ）。カマンベールチーズ。プッフ・ブルギニオン（牛肉のブルゴーニュ赤ワイン煮）
- 土産品：陶磁器（リモージュ、セブル（磁器、P242参照）など）。ガラス食器。香水。ポプリ。プロヴァンスの布製品。美術館グッズ。ワイン。チーズ
- アトラクション：オペラ。シャンソニエでシャンソン鑑賞。ムーラン・ルージュ（ショー）。クレイジーホース・サルーン（ショー）。パラディラタン（ショー）。リド（ショー）。<sup>のみ</sup>蚤の市。カンヌ映画祭（5月）。競馬の祭典凱旋門賞（10月第1日曜）

### ◎パリ（Paris）

- セヌ川沿いに位置する、508年フランク王国建国以来のフランスの首都。政治・文化・学術・芸術・経済・交通・ファッションの中心地。人口221万人。
- ノートルダム寺院／シテ島にある1330年頃完成したゴシック様式の寺院。高さ69m、奥行き128m、幅40mを誇る。高さ69mの鐘楼からは市内を一望できる。美しいステンドグラスは必見。（修復中）
- サント・シャベル／シテ島にあるゴシック建築の最高峰の1つといえる教会。創世記からキリスト復活までの聖書にちなんだ物語を再現しているパリ最古の美しいステンドグラスで有名。
- エッフェル塔／パリを象徴する塔。東京タワーのモデルとなった。1889年のパリ万国博のために世界一高い建造物として建てられ、テレビアンテナを設置してからは高さ324mに伸びた。
- シャイヨー宮／1937年の万国博覧会のために建てられ、内部には海洋・人類・文化財・映画などの博物館がある。テラスからのエッフェル塔の眺望はパリで最も美しい景観のひとつ。
- アンバリッド／ルイ14世が戦争で負傷した兵士を収容するために建てた施設。付属の教会の金色に輝くドームの下には、ナポレオンの遺体が安置されている。
- シャンゼリゼ通り／パリの中心部コンコルド広場とシャルル・ド・ゴール広場を結ぶ、ブティックやレストラン、カフェが多く並ぶパリの目抜き通り（全長1,880m）。
- エトワール凱旋門／シャルル・ド・ゴール広場の中央に建つ門で、パリの象徴。1805年、フランス軍の勝利を記念してナポレオンが建設を命じ、1836年完成。展望台から市内を一望できる。
- フォーブール・サントノレ／シャンゼリゼ通りの北側で同通りとほぼ平行に東西に走る通り。高級ブティックが軒を連ねる。途中にルイ15世の愛妾ボンパドゥール夫人やナポレオンの皇后ジョゼフィーヌが住居としたことのあるエリゼ宮（現大統領官邸）がある。
- オペラ座／パリのオペラの殿堂といわれる1875年完成のオペラ・ガルニエは、正面を飾る「ダンスの群像」とシャガールの天井画で有名。
- ルーブル美術館／「モナ・リザ」「ミロのヴィーナス」などで有名な入場者数世界最多の美術館。エジプト、ギリシャ、ローマなどの絵画、彫刻、工芸品、家具など約38万点を収蔵している。
- オルセー美術館／印象派のコレクションで有名な、旧オルセー駅舎を利用した美術館。代表作は、ルノワールの「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」やミレーの「落穂拾い」、ゴッホの「自画像」など。
- オランジュリー美術館／モネの「睡蓮」の連作を収めるために整備された印象派の美術館。
- コンコルド広場／パリ市街を見渡せる広場。エジプトから贈られた高さ23mのオベリスクがある。かつてマリー・アントワネットを含む総勢1,343人が処刑された場所。この広場からセヌ川をはさんで対岸にコリント様式の列柱を有するブルボン宮（現国民議会議事堂）がある。
- アレクサンドル3世橋／アンバリッドとグラン・パレ、プティ・パレを結ぶセヌ川にかかる橋。フランスのカルノー元大統領とロシア皇帝アレクサンドル3世の友好の証として、後のロシア皇帝ニコライ2世が1900年のパリ万博時に建設し、パリ市に寄贈した橋。

- カルチェ・ラタン地区／セーヌの左岸に広がる学生の町で、リュクサンブール公園、バンテオン、パリ最古の教会サン・ジェルマン・デ・プレ、老舗カフェなどがある。
- リュクサンブール公園／リュクサンブール宮殿（現元老院議事堂）の庭として造られた美しい公園。アメリカに贈られた「自由の女神像」の原型がある。
- バンテオン／巨大なドームを持つ新古典様式の神殿。ルソー、ユーゴー、ミラボー、キュリー夫人などのフランスに貢献のあった偉人たちの墓所が地下にある。
- モンパルナス／20世紀初頭、多くの芸術家が活躍した地区。周辺のカフェには、シャガール、ピカソ、レーニン、ストラビンスキー、コクトー、ヘミングウェイなどの著名人が集まった。再開発が行われたが、今でも若い芸術家が集まる観光の名所である。
- モンマルトルの丘／芸術家の集まる小高い丘。テルトル広場には似顔絵を描く画家たちと観光客が多く集まる。ユトリロやピカソも通ったオ・ラバン・アジルでシャンソンが聴ける。
- サクレ・クール寺院／モンマルトルの丘に1919年に建てられた白亜の寺院。入口には、高さ5mのルイ王とジャンヌダルクの騎馬像がある。寺院前のテラスからのパリ市街の眺望は素晴らしい。

◆イル・ド・フランス

パリの周囲半径約100km圏の地域の呼称。森に覆われた牧歌的な風景の中に、ベルサイユ宮殿をはじめ、フォンテーヌブローや画家たちの村バルビゾンなど見どころが多い。

★ベルサイユ宮殿 (Versailles)

パリの南西23kmに位置し、ルイ14世（ブルボン家）が造営した宮殿。世界史的にも重要であり、広大な庭園、大トリアノン、マリー・アントワネットの愛した小トリアノンがある。世界遺産。

★フォンテーヌブロー (Fontainebleau)

パリ南南東62kmにある都市で、美しい森とナポレオンが好んで訪れたフォンテーヌブロー宮殿が有名。

★シャンティイ (Chantilly)

パリの北41kmにある。城、公園、森、競馬場があり、多くの人で賑わう。シャンティイ城はコンデ美術館となっている。

●シャルトル (Chartres)

パリの南西約96kmにある、美しいステンドグラスを持つゴシック建築の大聖堂で有名な小都市。

◆ロワール渓谷

パリの南西、トゥールを中心としたロワール川の流域にはいくつもの美しい城や館が点在し、アンボワーズ城、ブロワ城、シャンボール城、シュノンソー城などが優雅さを競う。渓谷と城はいずれも世界遺産。

●オルレアン (Orleans)

パリの南130kmにあるロワール地方の主要都市。1429年この町が包囲された際に「オルレアンの乙女」ジャンヌダルクが町を解放したことで歴史に名を留める町。人口11万人。

◆ノルマンディー地方

フランス北西部のイギリス海峡に面する地域で、首府はルーアン。セーヌ川の河口には、木組みの家が立ち並ぶ古い港町オンフルールや再建された街並みが世界遺産に登録されたル・アーブルがあり、海峡にそそり立つエトルタの断崖への観光拠点になっている。イル・ド・フランスとの境には、モネの邸宅と庭園で人気のジベルニーがあり、パリからの日帰り観光地となっている。

★モン・サン・ミッシェル

ブルターニュ地方とノルマンディー地方の境に位置するサンマロ湾に浮かぶ周囲約1kmの小島にあるベネディクト派修道院。パリのモンパルナス駅からTGVで訪れることができる世界遺産。本土から約1.6km離れ、干満の差が激しく、満潮時は陸から切り離された孤島となった。

●ルーアン (Rouen)

ノルマンディー地方の首府。モネの連作で有名なノートルダム大聖堂、ジャンヌダルク教会がある。

- **アミアン (Amiens)**  
パリの北約130km、13世紀に造られたゴシック様式のフランス最大の大聖堂で知られている。
- **ランス (Reims)**  
パリ東部に広がるシャンパンの産地である旧シャンパーニュ地方の中心都市。歴代フランス国王の戴冠式が行われたノートルダム大聖堂があり、サン・レミ聖堂などとともに世界遺産に登録されている。
- **ストラスブール (Strasbourg)**  
ドイツとの国境近くライン川左岸にあるグラン・テスト地域圏の首府。独仏の争奪の地として有名。EUの欧州議会の所在地。ノートルダム大聖堂、グーテンベルク広場などが見どころ。人口28万人。
- ★ **シャモニー (Chamonix)**  
スイス、イタリアとの国境近くのアルプ山中の保養地。西ヨーロッパの最高峰モンブラン山（標高4,810m）への登山基地で、スキーのメッカとしても有名。エギーユ・デュ・ミディ展望台（標高3,842m）、プレバン展望台（標高2,525m）、メール・ド・グラス氷河がある。1924年第1回冬季オリンピック開催地。
- **グルノーブル (Grenoble)**  
フランス・アルプスの中心都市。1968年冬季オリンピックの開催地。文豪スタンダールの生地でもある。グルノーブル大学、バスチユ城砦、サン・ローラン教会、スタンダール記念館などが見どころ。
- **リヨン (Lyon)**  
フランス第3の都会。ローヌ川とソーヌ川の合流点にあり、古くから絹織物の盛んなオーヴェルニュローヌ・アルプ地域圏の産業・経済・文化の中心都市。リヨン美術館、織物歴史博物館、ローマ劇場などが見どころ。「星の王子さま」の作者サン・テグジュペリの出生地。人口51万人。
- ◆ **プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方**  
マルセイユの東方トゥーロンからイタリア国境近くのマントンに至る地中海沿岸地域で、首府はマルセイユ。カンヌ、ニース、グラース、アヴィニオン、アルル、サントロベなどの観光都市が並ぶ。
- **マルセイユ (Marseilles)**  
フランス第2の都市で、地中海有数の港町。ブイヤベース（魚介類のサフラン煮込みスープ）の本場でもある。沖合のイフ島には、デュマの小説「巖窟王（モンテ・クリスト伯）」の舞台として知られるイフ城がある。新港、旧港、ノートルダム寺院、コルニッシュの遊歩道が見どころ。人口86万人。
- **カンヌ (Cannes)**  
ニースと並ぶコート・ダジュールの中心都市。5月に行われる国際映画祭が有名で、目抜き通りのクロアゼット通り、カジノなどが見どころ。
- **ニース (Nice)**  
コート・ダジュール最大の観光都市で、カーニバルが有名。英国人の遊歩道（プロムナード・デ・ザングレ）、マセナ美術館、マチス美術館、シャガール美術館などが見どころ。人口34万人。
- **グラース (Grasse)**  
香水産業のメッカ。シャネルNo.5やディオールなどの有名なフランス香水の2/3がこの町で作られる。
- **アヴィニオン (Avignon)**  
14世紀にローマ教皇庁が置かれた町で、旧市街は城壁に囲まれ教皇宮殿も残る。「輪になって踊ろう」という歌で有名な半壊したままの石造りのサン・ベネゼ橋、西郊の古代ローマ人が造った水道橋ポン・デュ・ガール（世界遺産）などが見どころ。
- **アルル (Arles)**  
ローマ時代から海陸交通の要衝であり、中世には南仏諸王国の首都・商工都市として栄えた。小説家ドーデー、画家ゴッホゆかりの地で、作曲家ビゼーの組曲「アルルの女」でも有名。ローマ時代の円形闘技場、古代劇場、サントロフィーム教会などが見どころ。

●オランジュ (Orange)

現存するローマ遺跡の中で最も美しく、最も保存状態が良いとされる古代劇場と凱旋門がある。

●エクス・アン・プロヴァンス (Aix-en-Provence)

かつてプロヴァンス伯爵領の首都として繁栄した都市。毎年7月音楽祭が開かれる。画家ポール・セザンヌの生地、臨終の地であり、彼のアトリエも現存する。人口14万人。

●サントロペ (Saint-Tropez)

南仏で一番おしゃれな港町にして保養地。1960年代の銀幕の女王ブリジット・バルドー (BB) の別荘があった町であり、彼女が裸足で歩いた通りは今でもフランスで最もスノッブな場所といわれる。

●カルカソンヌ (Carcassonne)

紀元前6世紀にローマ人が築いた砦に起源を発する城塞都市 (世界遺産)。オード川東岸に位置するシテ (中世の城郭都市) には、砦の中の砦とも言うべきコンタル城やサン・ナゼール寺院がある。

★サント=マドレーヌ大聖堂

ブルゴーニュ地方ヴェズレーにある聖女マドレーヌに捧げられたロマネスク様式の教会。世界遺産「フランスのサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」の始点の一つとして登録されている。

<Attention Please!!>

○フランスの「地方」(region レジオン) : 米国などの「州」に相当するフランスにおける最も大きな地方行政区画で、「地域圏」とも訳される。フランスの地方は、全部で18 (ヨーロッパ内に地中海に浮かぶコルシカ島などを含み13、ヨーロッパ以外に5) ある。本土の12地方は次のとおり。

地域圏の名称	首府所在都市	特徴など
グラン・テスト	ストラスブール	ドイツ国境沿いの大なる東部。
ヌーベル=アキテーヌ	ボルドー	大西洋に面し、南はスペインに隣接。ボルドー・ワインで有名。
オーベルニュ=ローヌ=アルプ	リヨン	プロヴァンス=アルプ=コートダジュールの北隣。シャモニーなどがある。
ブルゴーニュ=フランシュ=コンテ	ディジョン	イル=ド=フランスの南東隣。ブルゴーニュ・ワインで有名。
ブルターニュ	レンヌ	ブルターニュ半島を含む。
サントル=バル・ド・ロワール	オルレアン	イル=ド=フランスの南西隣。ロワール川の上流域。
イル=ド=フランス	パリ	パリを中心とする地域。ベルサイユなどがある。
オクシタニー	トゥールーズ	地中海とスペインに面した地域。カルカソンヌ、モンペリエなどがある。
オー=ド=フランス	リール	イル=ド=フランスの北隣。
ノルマンディー	ルーアン	コタンタン半島がイギリス海峡に突き出た地域。
ペイ・ド・ラ・ロワール	ナント	ブルターニュ地方の南隣。ロワール川の下流域。
プロヴァンス=アルプ=コートダジュール	マルセイユ	地中海に面し、イタリアに隣接する地域。カンヌ、ニース、アルルなどがある。



シュノンソー城 (ロワール)



エトワール凱旋門



エッフェル塔

## 15. モナコ

■正式国名：モナコ公国

Principality of Monaco

■政治形態：立憲君主制

■面積：2 km<sup>2</sup>

■人口：4万人

■言語：フランス語（公用語）

■通貨：ユーロ（1ユーロ=162.6900円）

■住民：フランス人が半数以上。

■宗教：カトリック（国教）。

■地勢：フランスの南東端部に接し、南は地中海に面する、バチカン市国に次いで世界第2の小国。モナコ市、ラ・コンダミース、モンテカルロ、フォンビエイユの4地区から成る。

■気候：典型的な地中海性気候の特色を示し、温暖で降水量が少ない。

□観光：船で地中海巡り。近郊のリゾート（ニース、カンヌほか）

□名物料理：フランス料理が中心であるが、イタリア料理の影響を受けるシーフード料理もある。

□土産品：グレース・ケリー関連グッズ。モナコ・グランプリのグッズ。切手。コイン

□アトラクション：モナコ・グランプリ（F1・5月中・下旬）。モンテカルロ・ラリー（1月中・下旬）。カジノ

### ◎モナコ（Monaco）

モナコ市には王宮や政庁があり、モンテカルロ地区（F1グランプリの開催地）はカジノや豪華ホテル、別荘などが立ち並ぶ観光保養地となっている。モンテカルロの夜景は、「地中海の宝石」と謳われ、世界新3大夜景のひとつに数えられている。ラ・コンダミース地区は商業地区、フォンビエイユ地区は新興の開発地区となっている。

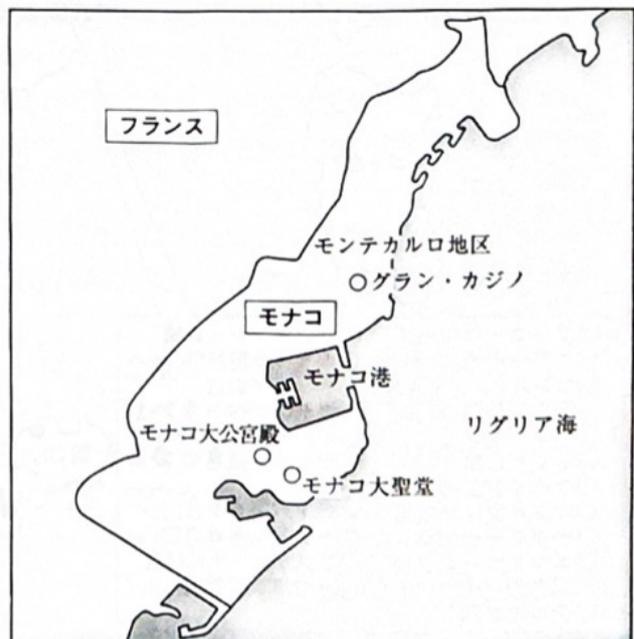
○モナコ大聖堂／1875年に建設されたロマネスク・ビザンチン様式のカトリック教会。グレース公妃をはじめ、歴代の大公が眠る。

○モナコ大公宮殿／歴代大公の居城。300万個の小石を敷き詰めたモザイク、トロンプ・ルイユ（だまし絵）などがあり、6～10月のガイドツアーのみ見学が可能。宮殿前のパレ広場で毎日11時55分に衛兵交替が行われる。

○グラン・カジノ／1878年開館のモナコで最も由緒あるカジノ。宮殿のような建物は、パリのオペラ座の建築家ガルニエの設計。内装も豪華で、優雅な気分を味わいながらゲームができる。

### <Attention Please!!>

○世界三大レース：モータースポーツの歴史ともいえる伝統を誇る、①インディ500（アメリカ／インディアナポリス、5月）、②モナコ・グランプリ（モナコ公国、5月）、③ル・マン24時間レース（フランス／ル・マン、6月）の3レースをいいます。



# 16. イタリア

■正式国名：イタリア共和国

Republic of Italy

■政治形態：共和制 EU加盟

■面積：30.2万km<sup>2</sup> (日本の約80%)

■人口：5,904万人

■言語：イタリア語

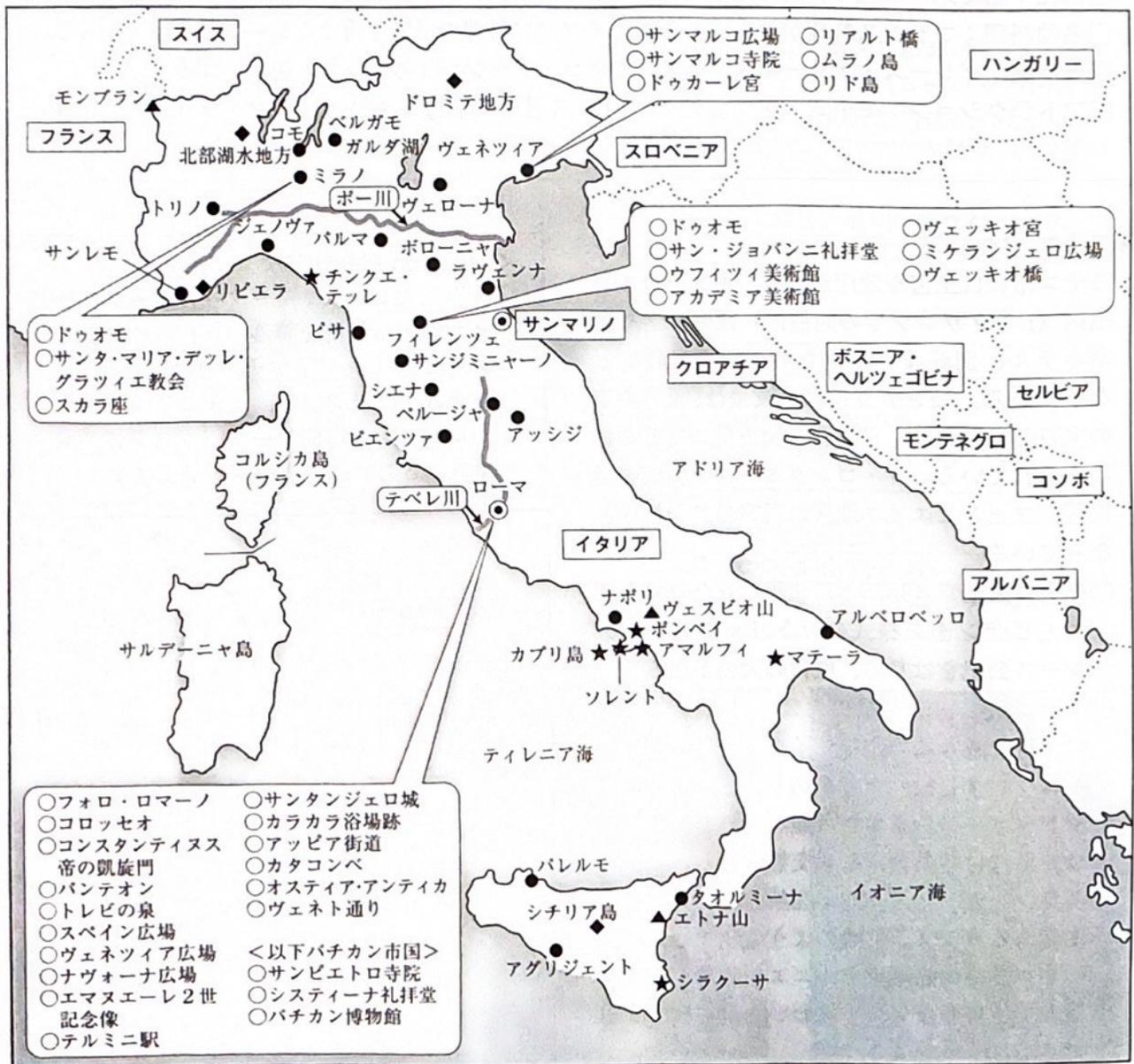
■通貨：ユーロ (1ユーロ = 162.6900円)

■住民：主にイタリア人。そのほか北部にドイツ系、フランス系など。

■宗教：カトリックが約80%。

■地勢：北部の国境地域にはアルプス山脈がそびえ、その南は高度を下げた美しい湖水地方、さらにイタリアの大穀倉地帯であると共に工業地帯でもあるポー川流域のポー平原に続く。中部の半島部分には、南北にアペニン山脈が走っている。三方をティレニア海、イオニア海、アドリア海に囲まれている。大きな島嶼としてはシチリア、サルデーニャの2島がある。

■気候：北部は大陸性気候、南下するにつれ温暖乾燥の地中海性気候の特色を示す。



- 観光：世界遺産の遺跡巡り。ルネサンスの巨匠たち（ミケランジェロ、ダ・ヴィンチ、ラファエロなど）の足跡を辿る。映画「ローマの休日」の舞台を訪ねる。南イタリアのリゾート巡り
- 名物料理：ブルスケッタ（ガーリックトースト）。ピッツア・マルゲリータ（チーズとバジルのピザ）。コッツェ・マリナーラ（ムール貝の白ワイン蒸し）。サルティンボッカ・アッラ・ローマナ（仔牛と生ハムのソテー）。ミネストローネ（トマトを使った野菜スープ）。ゴルゴンゾーラチーズ（ロンバルディア州とピエモンテ州が原産地のブルーチーズ）
- 土産品：革製品（バッグ、靴）。ガラス製品（ヴェネツィアン・グラス）。陶磁器（リチャード・ジノリ）。カメオ。オリーブオイル。パスタ。チョコレート。ワイン（トスカーナ、キャンティ）。グラッパ（蒸留酒）
- アトラクション：オペラ鑑賞。ヴェローナ音楽祭。ナポリ民謡。カンツォーネ。ムラノ島のガラス工房

### ●ローマ（Rome）（ラツィオ州）

テベレ川の左岸を中心に開けたローマ帝国時代の首都でもある数多くの遺跡を残す大都市。市内にカトリックの総本山バチカン市国（P101参照）がある。郊外には噴水のある別荘ビラ・デステで有名なティボリがある。人口276万人。

○フォロ・ロマーノ／古代ローマ時代に政治、裁判、商業取引などが行われていた市民生活の中心地。

この遺跡が発掘されたのは19世紀に入ってからであり、最古の凱旋門ティトゥス、セウエルス帝の凱旋門、政治の最高機関クーリア、金融の中心地エミリアのバジリカなどが見どころ。

○コロッセオ／紀元80年に完成した古代ローマ最大の円形闘技場。5万人以上収容可能な娯楽施設として造られ、当初は剣闘士同士や人間と猛獣の戦いに市民は熱狂していたが、313年にキリスト教が公認された後、5世紀はじめに廃止となった。

○コンスタンティヌス帝の凱旋門／コンスタンティヌス帝が312年ミルビオ橋の戦いで勝利したことを記念して315年に建てたとされる凱旋門。コロッセオの近くにある。

○パンテオン／「全ての神々」の意。世界最大の石造り建築であるコリント式円形神殿で、直径9mのドームの天窓から光が差し込む。祭壇には、ビットリオ・エマヌエーレ2世やラファエロの棺が安置されている。

○トレヴィの泉／建築と彫像が見事に調和している世界有数の噴水。18世紀に古代ローマのヴィルゴ水道改修を記念して建設された。中央に立つのは海神ネプチューン。左右は豊穡と健康の女神。

○スペイン広場／映画「ローマの休日」で有名なスペイン階段（137段）の下にある広場。階段を上るとトリニタ・デイ・モンティ教会がある。広場はいつも市民や観光客で賑わっている。

○ヴェネツィア広場／観光名所が集中している町の中心にある広場。正面には、大理石の巨大なビットリオ・エマヌエーレ2世記念堂がある。

○ナヴォーナ広場／車が入り込めないローマで一番落ち着いた・美しい広場といわれる広場。ベルニーニ作の「四大河の噴水」を中心に、「ネプチューンの噴水」「ムーア人の噴水」の美しい3つの噴水がある。

○エマヌエーレ2世記念像／ヴェネツィア広場の前に建つ記念堂の中央にある騎馬像。その下には第1次世界大戦で戦死した無名戦士の墓がある。記念堂内にはベネチア宮殿博物館もある。

○テルミニ駅／「終着駅」という意。映画「終着駅」の舞台となった交通の中心。駅構内及び周辺には、レストラン、スーパー、ショッピング街、土産物店、書店などがある。

○サンタンジェロ城／ハドリアヌス帝が自分とその後のローマ皇帝の霊廟として建てさせた。中世には城が増強され、侵略時に教皇を守る「バチカンの要塞」的な役割を果たした。ブッチーニの歌劇「トスカ」の舞台としても有名。1933年以降は博物館として使用されている。

- カラカラ浴場跡／広さ1万1,000㎡の古代ローマの浴場跡地。当時1,600人が一緒に入れた世界最大級の浴場であった。
- アッピア街道／「女王の道」とも呼ばれる旧ローマ街道。ローマからナポリを通過して南のプリンディジまで。世界遺産。
- カタコンベ／アッピア街道沿いにある、古代ローマ時代に迫害されたキリスト教徒の共同地下墓地。
- オステリア・アンティカ／市の西郊にある20世紀初頭に発掘された古代遺跡。庶民の集合住宅や店舗など保存状態がよく、庶民の生活を知る貴重な手掛かりとなっている。
- ヴェネト通り／ボルゲーゼ公園につづくローマ有数のエレガントな繁華街。
- ナポリ (Naples) (カンパニア州)  
風光明媚なナポリ湾に面した観光都市。世界3大美港のひとつ（他の2つはシドニー、リオデジャネイロ）。ナポリ民謡で有名な観光地や島々が近い。サンタルチア港とそこに建つ卵城、イタリア3大歌劇場のひとつサンカルロ歌劇場、王宮とその前のプレシート広場などが見どころ。人口92万人。
- ★ボンベイ (カンパニア州)  
紀元79年にヴェスヴィオ火山の噴火によって埋まったローマ時代の都市遺跡。1997年世界遺産登録。
- ★カプリ島 (Capri Island) (カンパニア州)  
ナポリ湾のソレント半島の沖に浮かぶ小島の海浜リゾート。西端近くにある海食洞「青の洞窟」は、乗合ボートにより探勝する観光スポット。冬は荒天で洞窟に入れないことも多い。
- ★ソレント (Sorrento) (カンパニア州)  
ナポリ湾に突き出たソレント半島にある保養地。ナポリ民謡（カンツォーネ）「帰れソレントへ」で有名。中世の貿易港として栄えたアマルフィまでの海岸線は絶好のドライブコース。
- ★アマルフィ (Amalfi) (カンパニア州)  
ソレント半島の東側に位置する急峻な海岸に面して築かれた町。世界遺産のアマルフィ海岸の中心で、紺碧の海とレモンの木が茂るリゾート地として人気。海岸の西端にはボジターノの町がある。
- アルベロベッロ (Alberobello) (プッリャ州)  
イタリア半島南端、「かかと」の付け根部分の内陸に位置する。トゥルッリと呼ばれる白い壁にとんがり帽子のような円錐形の石屋根を持つ独特の建物が並ぶ景観で知られ、世界遺産に登録されている。
- ◆シチリア島 (Sicily Island) (シチリア州)  
地中海最大の島であり、活火山としてはヨーロッパ最高峰であるエトナ山（標高3,323m）がそびえている。麓のタオルミーナは、2017年にサミットが開催された。シラクーサには古代ギリシャ遺跡がある。
- パレルモ (Palermo) (シチリア州)  
シチリア島北海岸の西部に位置するシチリア州の州都。ローマ、アラブ、ノルマンなど数多くの勢力に支配されたため、それらが融合した独自の文化が築かれた。ノルマン宮殿とモザイクの素晴らしいパラティーナ礼拝堂、カテドラーレなどが見どころ。人口64万人。
- アグリジェント (Agrigento) (シチリア州)  
シチリア島南西海岸に位置する。「神殿の谷」と呼ばれる一帯に保存状態の良いギリシャ神殿が立ち並ぶ古代都市。世界遺産にも登録されている。中でもコンコルディア神殿は、シチリアで最も保存状態の良い遺跡として知られる。その出土品を展示した国立考古学博物館の展示も見応えがある。
- フィレンツェ (Florence) (トスカーナ州)  
アルノ川沿いに開けたイタリア・ルネサンスの揺籃の地。トスカーナ州の州都。地元の富豪メディチ家の援助のもとに開花した「花の都」。町全体が「天井の無い美術館」と言われる。人口37万人。
- ドウオモ／「花の聖母教会（サンタ・マリア・デル・フィオーレ）」とも呼ばれるフィレンツェの象徴。ピンクや緑の色鮮やかな大理石を使用して建てられたイタリア・ゴシック様式の大聖堂は、完成するまで175年も掛かった。横には寄り添うように美しいジョットの鐘楼が建つ。

- サン・ジョバンニ洗礼堂／フィレンツェの守護聖人ジョバンニに捧げられ、ドゥオモが完成するまで聖堂として使用された。建物の南、北、東の扉にはブロンズのレリーフ装飾が施されていて、南扉はピサーノ、北扉と東扉はギベルティが製作したもの。特に東扉は旧約聖書からの10の場面を見事に表現した作品で、ミケランジェロが「天国の扉」と呼んで称賛した。
- ウフィツィ美術館／イタリアルネサンス絵画で有名な美術館。ボッティチェリの「ヴィーナスの誕生」と「春」、ミケランジェロの「聖家族」、レオナルド・ダ・ヴィンチの「受胎告知」、ラファエロの「ひわの聖母」などを収蔵している。
- アカデミア美術館／ミケランジェロの「ダビデ像」があるこぢんまりとした美術館。13～16世紀のフィレンツェ派の絵画やメディチ家の古典楽器コレクションなども展示されている。
- ヴェッキオ宮／シニョリーア広場にあるゴシック建築の建物であり、かつてフィレンツェ共和国の政庁として使用されていた。現在、市役所として使われている。
- ミケランジェロ広場／アルノ川の対岸にある高台の広場。市街が一望できる展望台として人気がある。ミケランジェロの記念碑と「ダビデ像」のコピーが建っている。
- ヴェッキオ橋／アルノ川に架かるフィレンツェ最古の石橋。橋の上には、貴金属店と宝石店が並ぶ。
- ピサ (Pisa) (トスカーナ州)  
フィレンツェから西へ80km、ガリレオが落下実験をした斜塔がある、中世に栄えた港町。ピサの斜塔は、ドゥオモの鐘楼であり、洗礼堂、大聖堂、墓所回廊とともに「ドゥオモ広場」として世界遺産。
- サンジミニャーノ (San Gimignano) (トスカーナ州)  
フィレンツェの西南55kmにある、城壁をめぐらし中世の雰囲気を残す「美しい塔」の町。ドゥオモ、ポポロ宮殿、チステルナ広場などがある。
- シエナ (Siena) (トスカーナ州)  
フィレンツェから南へ70km、12～14世紀の中世イタリアで栄えた都市国家のひとつ。カンポ広場、ドゥオモ、プブリコ宮があり、年2回(7月2日、8月16日)裸馬レースで有名な祭り「パリオ・デレ・コントラーデ」が行われる。旧市街は、「シエナ歴史地区」として世界遺産。
- ピエンツァ (Pienza) (トスカーナ州)  
15世紀にこの町出身のピウス2世がローマ教皇になり、理想のルネサンス期の町造りを始め、フィレンツェの建築家ロッセリーナを呼び寄せ、大聖堂をはじめ数々の建築物を残した。現在町並みは世界遺産登録。
- ボローニャ (Bologna) (エミリア・ロマーニャ州)  
エトルリア人が建設した都市であり、北部と中部とを結ぶ交通の要衝。11世紀にヨーロッパ最古の総合大学ボローニャ大学がつくられ、文化、学問の一中心地となった。人口39万人。
- ラヴェンナ (Ravenna) (エミリア・ロマーニャ州)  
西ローマ帝国の首都であり、ビザンチン帝国の主要都市として栄えた。モザイク芸術の町として知られ、その宝庫といえる町である。サン・ピターレ教会、ガッラ・プラチディア廟、叙事詩「神曲」を残したダンテの墓などがある。
- パルマ (Palma) (エミリア・ロマーニャ州)  
エミリア街道がパルマ川を渡る交通の要衝に発達した城郭都市。指揮者トスカニーニの生家などがある。チーズ、生ハムの産地として名高い。
- アッシジ (Assisi) (ウンブリア州)  
フランシスコ修道会の創設者聖フランチェスコの生まれた宗教の町であり、また芸術の町としても有名。聖フランチェスコ聖堂、サンタ・キアラ教会、マッジョーレ城塞、コムーネ広場などが見どころ。
- ペルージャ (Perugia) (ウンブリア州)  
エトルリア文明の栄えた町のひとつ。中世には商業が発達し、自由都市として栄えた。15～16世紀に

はウンブリア派の画家が活躍した。ウンブリア国立絵画館、ブリオリ宮、エトルスコ門がある。

●ヴェネツィア (Venice) (ヴェネト州)

商港として栄えた「水の都」。古くから東西貿易、十字軍遠征の際も重要な役割を果たし、イタリア屈指の国家であった。市内の交通はボートかゴンドラか徒歩で、陸上交通機関はない。人口25万人。

○サンマルコ広場／ヴェネツィアの象徴サンマルコ寺院があり、世界で一番美しいとされる広場。

○サンマルコ寺院／ロマネスク・ビザンチン様式の寺院で、ヴェネツィアの守護聖人サンマルコを祀る。

○ドゥカーレ宮／サンマルコ運河に面して建つヴェネツィア共和国の総督の館で、ヴェネツィア・ゴシック様式の傑作とされる。

○リアルト橋／「ヴェニス商人」で有名なヴェネツィア最古の華やかな大理石の橋で、その下をゴンドラが行き交う。

○ムラーノ島／ヴェネツィアン・ガラスの生産地として有名な島。

○ブラーノ島／メルレットと呼ばれるレース編みの生産とカラフルな家並みで有名。

○リド島／ヴェネツィア国際映画祭の会場がある島で、カジノがある保養地としても有名。

●ミラノ (Milan) (ロンバルディア州)

イタリア第2の都市であり、同国の経済の中心地。イタリア・ファッションの中心地でもある。郊外南東80kmには、バイオリンの製作で有名なクレモナの町がある。人口136万人。

○ドゥオモ／ミラノ大聖堂の呼称。世界最大級のゴシック建築の大聖堂前にはドゥオモ広場があり、市民の憩いの場となっている。

○サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会／レオナルド・ダ・ヴィンチの壁画「最後の晩餐」がある。

○スカラ座／世界的にも有名なオペラの殿堂で、近年はコンサートやバレエも上演されている。

●ヴェローナ (Verona) (ヴェネト州)

イタリアと北ヨーロッパを結ぶ交通の要衝で、「ロミオとジュリエット」の舞台の地としても知られる。毎夏(6月～8月)、オペラの祭典ヴェローナ音楽祭が行われる古代ローマ時代の野外円形劇場(闘技場跡)アレナ、ジュリエッタの家、シニョーリ広場などが見どころ。人口26万人。

●ベルガモ (Bergamo) (ロンバルディア州)

ミラノとヴェネツィアの2大強国にはさまれながら自治都市として独自の繁栄をした町。中世そのままの姿の旧市街(アルタ)と新市街(パッサ)の全く異なる2つの顔を持つ。

◆ドロミテ地方(フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州)

オーストリアと国境を接するイタリア北部の山岳地方で南チロルとも呼ばれる。中心を成すコルチナ・ダンベッツォは1956年の冬季オリンピックが開かれた夏と冬のリゾート。

◆北部湖水地方(ロンバルディア州など)

ミラノの北方、スイスとの国境近くにある湖水地方は避暑地として有名。西部にはマッジョーレ湖(湖中のベッラ島に美しい宮殿、湖畔にストレーザの町がある)、ルガノ湖、コモ湖(湖畔にコモ、ペラージオの町)の3湖があり、東部にはイタリア最大のガルダ湖がある。

◆リビエラ(Riviera)(リグーリア州)

フランスのコートダジュールに続く地中海の海岸で、イタリア側には中心に位置するジェノヴァのほか、音楽祭で有名なサンレモの町、世界遺産の5つのカラフルな可愛い村々チンクエ・テッレなどがある。

●ジェノヴァ(Genova)(リグーリア州)

地中海沿岸にあるフランスのマルセイユに次ぐ港町であり、十字軍時代から栄えたイタリア第1の貿易港。王宮、ピアンコ宮、フェラーリ広場、コロンブスの生地が見どころ。人口56万人。

●トリノ(Torino)(ピエモンテ州)

イタリアの穀倉地帯の中心都市であり、フィアットの自動車産業を中心とする大工業都市。ピエモンテ州の州都。世界遺産の壮大なベナリア宮殿がある。2006年冬季オリンピックの開催地。人口85万人。

## 17. バチカン市国

■正式国名：バチカン市国

Vatican City State / State of the City of Vatican

■政治形態：教皇主権による宗教国家

■面積：0.44km<sup>2</sup>（世界最小の独立国）

■人口：820人

■言語：ラテン語（公用語）。他にイタリア語、フランス語なども使われる。

■通貨：ユーロ（1ユーロ=162.6900円）

■住民：イタリア人が85%、スイス人（衛兵など）が12%。

■宗教：カトリック。

■地勢：イタリアのローマ市内西部のバチカン丘に位置し、最高地点は75m。

■気候：地中海性気候の特色を示す。

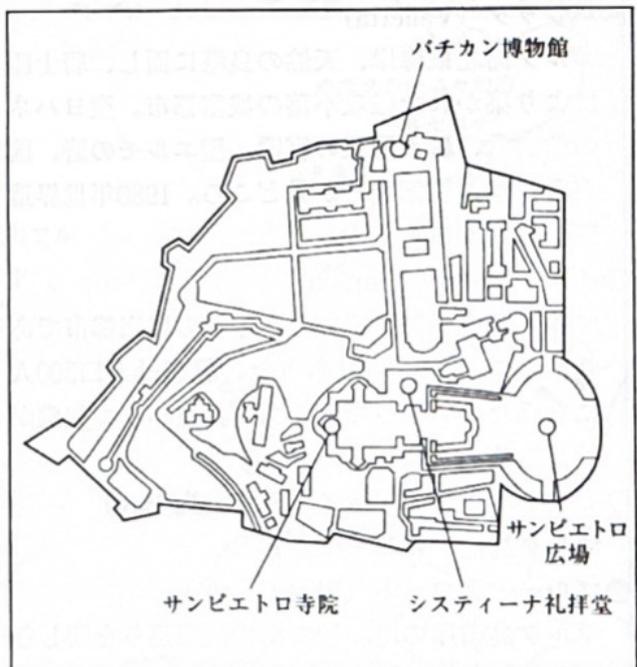
- 観光：国自体が世界遺産である。イタリアとの国境は城壁に沿ってあり、その内側にある文化遺産の宝庫はゆっくり散策しながら見学するとよい。
- 名物料理：イタリアと同一
- 土産品：記念切手。絵はがき（バチカン独自の郵便局から郵送）。関連書籍
- アトラクション：衛兵交替式（毎日15時15分よりスイス人の衛兵が行う）。教皇が執り行うミサ（毎週日曜日）。教皇がサン・ピエトロ広場に姿を見せて挨拶する（復活祭などの特別な日のみ）。

○サンピエトロ寺院／バチカン市国にある324年創建のカトリックの総本山。歴代の教皇が葬られている。イタリア・ルネサンスを代表する建築であり、内部にはミケランジェロの「ピエタ」や大クーポラ（天井）がある。毎週日曜日の正午に教皇が最上階の窓から姿を現し、サンピエトロ広場に集まった人々を祝福する。

○システィーナ礼拝堂／サンピエトロ寺院に隣接するバチカン博物館（宮殿）の最も奥にある教皇の礼拝堂。ミケランジェロの壁画「最後の審判」や天井画「アダムの創造」で有名。

○バチカン博物館／バチカン宮殿にある歴代教皇が集めたコレクションを収蔵する美術館・博物館などの総称。システィーナ礼拝堂、絵画館、ラファエロの間、ギリシャ彫刻の傑作「ラオコーン」、署名の間の「アテネの学堂」は必見。

※サンタンジェロ城（聖天使城）については、P97参照。



### <Attention Please!!>

○ローマ教皇：全世界のカトリック教徒の精神的最高指導者。2025年1月現在の教皇は、アルゼンチン出身のフランシスコ（在位：2013年～）で第266代。史上初のアメリカ大陸出身の教皇。



- 観光**：スペイン帝国時代の文化遺産巡り。画家エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤ、ピカソ、ダリの足跡を辿る。海浜リゾート巡り
- 名物料理**：バエリア（スペイン風炊き込みご飯）。ガスパッチョ（野菜の冷製スープ）。トルティージャ・エスパニョーラ（スペイン風オムレツ）。コチニーリョ・アサード（仔豚の丸焼き／セゴビア）
- 土産品**：革製品。陶器人形（リヤドロ製）。絵タイル。寄せ木細工（グラナダ）。オリーブ・オイル。ワイン。シェリー酒
- アトラクション**：民族舞踊のフラメンコ。闘牛。バレンシアの火祭り（3月）。セビージャ（セビリア）の春祭り（フェリア・デ・プリマベラ）。牛追い祭り（7月、パンプローナ）。トマト祭り（8月、バレンシア州ブニョール）。人間の塔（カステジェルス、9月、タラゴナ）

◎マドリード（Madrid）

レコンキスタ（国土回復運動）の間に商業都市として発展、1560年から首都となる。マンサナレス河畔にある政治・商業の中心地。南郊にはスペイン王室の宮殿と庭園（世界遺産）があるアランフェス、西北郊には世界遺産のサン・ロレンソ修道院で有名なエル・エスコリアルなどがある。人口327万人。

○スペイン広場／広場の中央にはセルバンテス没後300年を記念して造られた記念碑があり、その下にあるドン・キホーテ像は記念撮影する人たちの人気スポット。

○プラド美術館／世界屈指の美術館のひとつといわれる。所蔵絵画数9,000点を超える膨大なコレクションの多くは、歴代のスペイン王室のもので、スペインを代表する巨匠エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤ（裸のマハなど）の作品をはじめ、世界中の美術品が展示されている。

○プエルタ・デル・ソル（太陽の門）／マドリードの中心であり、観光の起点。かつてナポレオン軍と市民が戦った場所であり、それが口火となってフランスからの独立戦争が始まった。周辺にはデパート、レストラン、ショップが多く集まる。

○王宮／イタリアとフランスの影響を受けたバロック様式の建物。150m四方の宮殿には約2,800室の部屋があり、そのうち大広間や王座の間など50室の見学が可能。現在は、国の公式行事を行う迎賓館として利用されている。

○グラン・ビア／「大通り」という意。スペイン広場からシベレス広場まで、市内を東西に走る目抜き通りで、ホテルや高級店が多く並んでいる。通りを境に北側は新市街、南側は旧市街。

○マヨール広場／市の中心である集合住宅に囲まれた広場。クチリエーロスの門とフェリペ3世の騎馬像が有名で、かつて王室の儀式、闘牛、絞首刑が行われた場所であったが、今ではカフェや土産物店に人々が集まる憩いの場である。

●トレド（Toledo）

マドリードの南約70kmにあり、マドリードに遷都される前の首都。蛇行するタホ川に囲まれたスペイン第1の美術の都。スペイン・カトリックの総本山ともいべきトレド大聖堂、サント・トメ教会、エル・グレコの家（エル・グレコ美術館）、サンタ・クルス美術館などが見どころ。旧市街は世界遺産。

◆ラ・マンチャ地方

セルバンテスの小説「ドン・キホーテ」の舞台として知られるこの地方は、マドリード南東に麦畑やぶどう畑がどこまでも続く農村地帯で、風車が象徴となっている。

●セゴビア（Segovia）

マドリードの北西90kmにある旧カスティリア王国の首都。その後、繊維工業の中心地であった。ディズニー映画白雪姫の城のモデルとなった王城アルカサル、ローマ時代の水道橋、カテドラル（大聖堂）などが見どころ。「セゴビア旧市街と水道橋」は、1985年世界遺産登録。

## ●サラマンカ (Salamanca)

セゴビアの西150km。農産物の集散地であり、食品加工業も盛ん。スペインを代表する大学の町であり、大学や大聖堂のあるサラマンカ旧市街全体が、世界遺産に登録されている。

## ●コルドバ (Cordoba)

後ウマイヤ朝時代の首都で、宗教、文化の中心地であった。グアダルキビル川の河畔に建つイスラム教寺院メスキータ（英語のモスク）、西ゴート族からイスラム教徒に受け継がれた城塞アルカサル、川を跨ぐローマ橋、ユダヤ人街などが見どころ。人口32万人。

## ●セビージャ (セビリア) (Sevilla)

アンダルシア地方の河港都市。後ウマイヤ朝時代に栄え、大航海時代以後、貿易により繁栄した。江戸時代に支倉常長使節団がここに滞在。ロッシーニ作曲のオペラ「セビリアの理髪師」とビゼー作曲のオペラ「カルメン」の舞台、画家ベラスケスの生地、聖週間、春祭り（フェリア・デ・プリマベラ）で有名。市の象徴ヒラルダの塔、ムデハル様式のアルカサル、スペイン広場、世界最大級のセビージャ大聖堂、サンタ・クルス街などが見どころ。人口68万人。

## ●グラナダ (Granada)

シエラ・ネバダ山脈のふもとにある、イスラム支配の最後の砦となった町。ギター曲「アルハンブラの思い出」で知られ、繊細なイスラム建築の粋といわれるアルハンブラ宮殿（アラビア語で「赤い城塞」の意味。王宮、アルカサバ城塞などから成る）とヘネラリフェ庭園、大寺院、アルバイシン地区などが見どころ。人口23万人。

## ◆コスタ・デル・ソル

アンダルシア地方の地中海沿岸に臨む美しい海岸で、「太陽の海岸」の意。マラガを中心として、マルベリャやトレモリノス、ネルハなど避暑地として有名で、バカンス客で賑わう。南端近くのアルヘシラスからフェリーでモロッコのタンジールを訪ねることもできる。アルヘシラス港の東に突き出た岩山のジブラルタルは、イギリス領であり、ジブラルタル海峡に睨みをきかせている。

## ●マラガ (Malaga)

地中海に面したリゾート都市。画家ピカソの出身地。人口58万人。

## ◆コスタ・デ・ラ・ルス

アンダルシア地方の大西洋に面した海岸。「光の海岸」の意。シェリー酒の産地として知られるヘレス・デ・ラ・フロンテラ、コロンブスの史跡が残るウエルバの町などがある。

## ●バレンシア (Valencia)

ギリシャ時代の植民地としてスタートしたバレンシア地方の商工業の中心都市。3月に行われるサン・ホセの火祭りは有名。大寺院、ラ・ロンハ・デ・ラ・セダ（絹取引所）などが見どころ。人口79万人。

## ●バルセロナ (Barcelona)

東北部の地中海に臨む海港都市。独立独歩精神が旺盛で、スペイン内乱ではフランコ側に激しく抵抗した。1992年のオリンピック開催地。世界中に注目されているサグラダ・ファミリア教会（聖家族教会。1984年世界遺産登録）は、1882年にピャーが着工しガウディに、さらにその後継者に引き継がれ、まだ建設中。そのほか世界遺産のカタルーニャ音楽堂、ガウディが造ったカサ・ミラ、カサ・パトリョ、ピカソ美術館、ランブラス通り、ゴシック地区のサンタ・エウラリア大聖堂などが見どころ。人口163万人。

## ◆モンセラート (Montserrat)

バルセロナ近郊の山で、「黒い聖母像」で知られるモンセラート修道院がある聖地のひとつ。

## ●タラゴナ (Tarragona)

バルセロナの西約80kmの地中海に面した湾港都市。古代ローマ時代に築かれ交通の要衝として栄えた町で、「悪魔の橋」と呼ばれるラス・ファレラス水道橋や円形競技場（共に「タラゴナの考古遺産群」として世界遺産に登録）などが見どころ。9月のサンタテクラ祭りは人間の塔を作ることで有名。

●サンティアゴ・デ・コンポステラ (Santiago de Compostela)

北西部の標高260mの丘陵に位置する。カトリック教徒にとって、エルサレム、バチカンと並ぶキリスト教の第3の巡礼地とされる。旧市街にあるロマネスク様式の大聖堂には、12使徒のひとり聖ヤコブの遺骨が収められている。旧市街は1985年世界遺産登録。

◆マヨルカ島 (Majorca Island)

地中海に浮かぶバレアレス諸島最大の島。ヨーロッパ有数のビーチリゾートを数多く有する。中心都市はバルマ。山あいの村バルデモッサにはショパンとその恋人ジョルジュ・サンドが過ごした僧院がある。

◆カナリア諸島 (Canary Islands)

スペイン本土から南西1,000kmの大西洋上にある、年間約1,000万人の観光客が訪れる諸島。ヨーロッパ、中東、アメリカ大陸間の海上中継点。自由貿易港として、政府の格好の外貨獲得の場でもある。

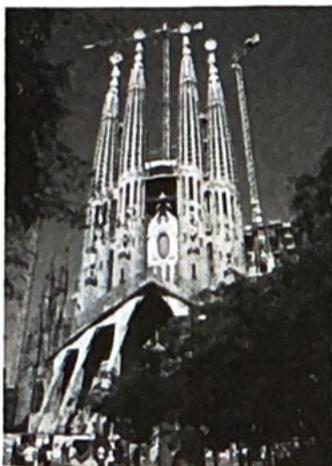
<Attention Please!!>

○スペインの地方行政区画

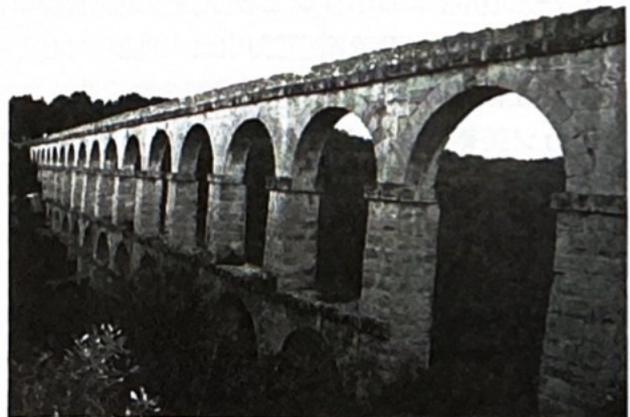
スペインには、17の地方(自治州)がある。主な地方(州)は次のとおり。

- ・アンダルシア地方(州) = スペイン南部に位置。セビリア、グラナダ、コルドバ、マラガなどの都市がある。州都はセビリア。典型的な地中海性気候で、夏はまばゆい太陽が輝き、暑い。
- ・カタルーニャ地方(州) = スペイン北東部、ピレネー山脈の南に位置。地中海に面する。州都はバルセロナ。
- ・ガリシア地方(州) = スペイン北西端に位置。南はポルトガル、北と西は大西洋に面する。州都はサンティアゴ・デ・コンポステラ。入り江の多い複雑な海岸線で知られ、リアス海岸の語源となったのがここ。
- ・バレンシア地方(州) = スペイン東部に位置。東は地中海に面する。州都はバレンシア。
- ・バスク地方(州) = スペインの北部、ピレネー山脈の西側に位置。北は大西洋(ビスケー湾)に面する。半円形の美しいコンチャ海岸で有名な美食の町サン・セバステイアン、ビルバオなどの都市を擁する。バスク語を話すバスク人の居住する地域。
- ・ナバーラ地方(州) = スペイン北部に位置。旧王国の首都であったバンプローナは、ヘミングウェイの「日はまた昇る」で有名になったサン・フェルミン祭(牛追い祭り)で有名。
- ・マドリード地方(州) = マドリード県1つから成る1県1州の自治州。スペインの首都マドリードがあり、州都・県都もマドリード。スペインの県としては、人口第1位。

○パブロ・ピカソ: 1881年~1973年。スペインのマラガに生まれ、長命であった生涯におおよそ13,500点の油絵とデッサン、約10万点の版画、3万点余の挿絵、約300点の陶器と彫刻を制作したと言われ、ギネスブックにも多作世界一の芸術家として登録されている。代表作は「ゲルニカ」(マドリードの国立ソフィア王妃芸術センター所蔵)、「アビニョンの娘たち」(ニューヨーク近代美術館所蔵)、「シュミーズ姿の少女」(ロンドンのテート・ギャラリー所蔵)など。



サグラダ・ファミリア教会



タラゴナ水道橋